

マイアジェンダ登録者の地球温暖化防止の取組等に関する調査
結果報告書

平成22年2月

神奈川県環境農政部環境計画課

目次

	頁
I 調査概要	1
II 調査結果	
1 家庭における温暖化防止の取組状況、意識について	4
2 家庭における温暖化防止の取組を進めるための施策について	13
3 マイアジェンダ制度について	15
III 集計表	
1 家庭における温暖化防止の取組状況、意識について	18
2 家庭における温暖化防止の取組を進めるための施策について	27
3 マイアジェンダ制度について	29

注…集計表の比率(%)は端数を四捨五入し表示しているため、合計が100%にならないことがあります。

I 調査概要

1 調査の趣旨

「マイアジェンダ登録者」を対象に、アンケート調査を実施することにより、マイアジェンダ登録の効果を把握するとともに、神奈川県地球温暖化対策推進条例に県民の責務として規定している日常生活等における地球温暖化対策などの取組の推進や、家庭部門における温暖化対策の新たな展開を図るための基礎資料とする。

2 調査対象

マイアジェンダ登録者 5,466名（平成20年1月～12月の新規登録者）
（内訳）電子メールアドレス未登録者 3,000名（9,177名から無作為抽出）
電子メールアドレス登録者 2,466名

3 調査方法

電子メールアドレス未登録者 郵送による配付・回収
電子メールアドレス登録者 電子メールによる送信・受信

4 調査期間

平成21年9月1日～9月30日

5 アンケート回収状況

	対象数		回答数	回答率	
	発送数	不着数			
郵送	3,000件	159件	2,841件	1,147件	40.4%
メール	2,466件	53件	2,413件	275件	11.4%
合計	5,466件	212件	5,254件	1,422件	27.1%

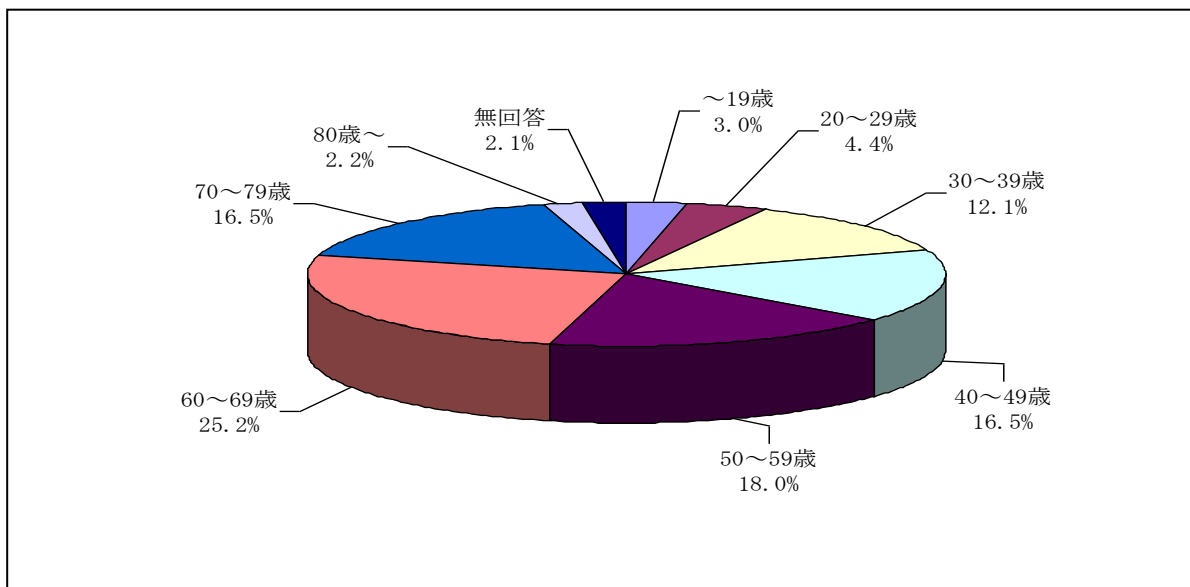
6 回答者の属性…回答者数（回答率）

(1) 性別

男性	640人(45.0%)	女性	757人(53.2%)	無回答	25人(1.8%)
----	-------------	----	-------------	-----	-----------

(2) 年齢

～19歳	42人(3.0%)	40～49歳	235人(16.5%)	70～79歳	235人(16.5%)
20～29歳	62人(4.4%)	50～59歳	256人(18.0%)	80歳～	31人(2.2%)
30～39歳	172人(12.1%)	60～69歳	359人(25.2%)	無回答	30人(2.1%)



(3) 住所

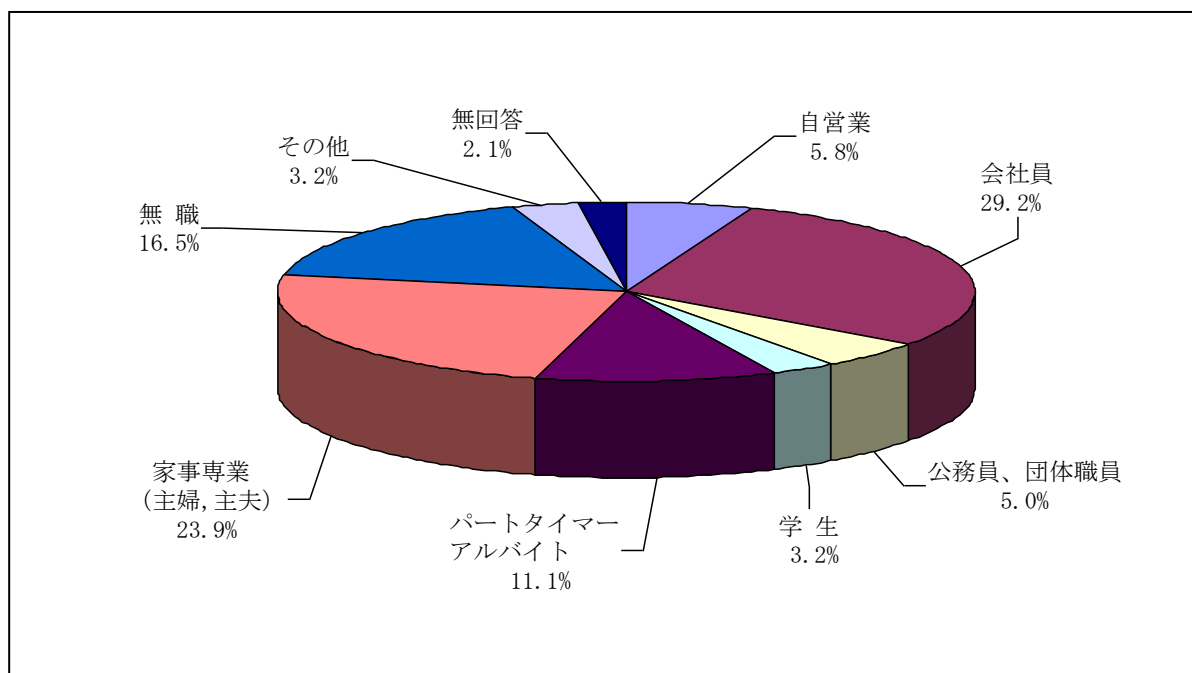
横浜市	695人(48.9%)	厚木市	21人(1.5%)	大井町	3人(0.2%)
川崎市	65人(4.6%)	大和市	22人(1.5%)	松田町	4人(0.3%)
横須賀市	58人(4.1%)	伊勢原市	12人(0.8%)	山北町	3人(0.2%)
平塚市	65人(4.6%)	海老名市	18人(1.3%)	開成町	1人(0.1%)
鎌倉市	37人(2.6%)	座間市	17人(1.2%)	箱根町	14人(1.0%)
藤沢市	72人(5.1%)	南足柄市	10人(0.7%)	真鶴町	1人(0.1%)
小田原市	39人(2.7%)	綾瀬市	20人(1.4%)	湯河原町	1人(0.1%)
茅ヶ崎市	73人(5.1%)	葉山町	12人(0.8%)	愛川町	4人(0.3%)
逗子市	10人(0.7%)	寒川町	4人(0.3%)	清川村	0人(0.0%)
相模原市	47人(3.3%)	大磯町	5人(0.4%)	県外	18人(1.3%)
三浦市	14人(1.0%)	二宮町	9人(0.6%)	無回答	28人(2.0%)
秦野市	19人(1.3%)	中井町	1人(0.1%)		

(4) 環境配慮活動への参加状況

「チーム・マイナス6%」に参加している	139人(9.8%)
市町村が呼びかけている環境配慮行動宣言の取組みに参加している	51人(3.6%)
環境団体等が推進している環境配慮の運動に参加している	39人(2.7%)
地元の自治会や団体等が推進している環境配慮の運動に参加している	52人(3.7%)
その他の取組み等	71人(5.0%)
参加していない	1,040人(73.1%)

(5) 職業

自営業	82人(5.8%)	家事専業(主婦、主夫)	340人(23.9%)
会社員	415人(29.2%)	無職	235人(16.5%)
公務員、団体職員	71人(5.0%)	その他	46人(3.2%)
学生	45人(3.2%)	無回答	30人(2.1%)
パートタイマー、アルバイト	158人(11.1%)		



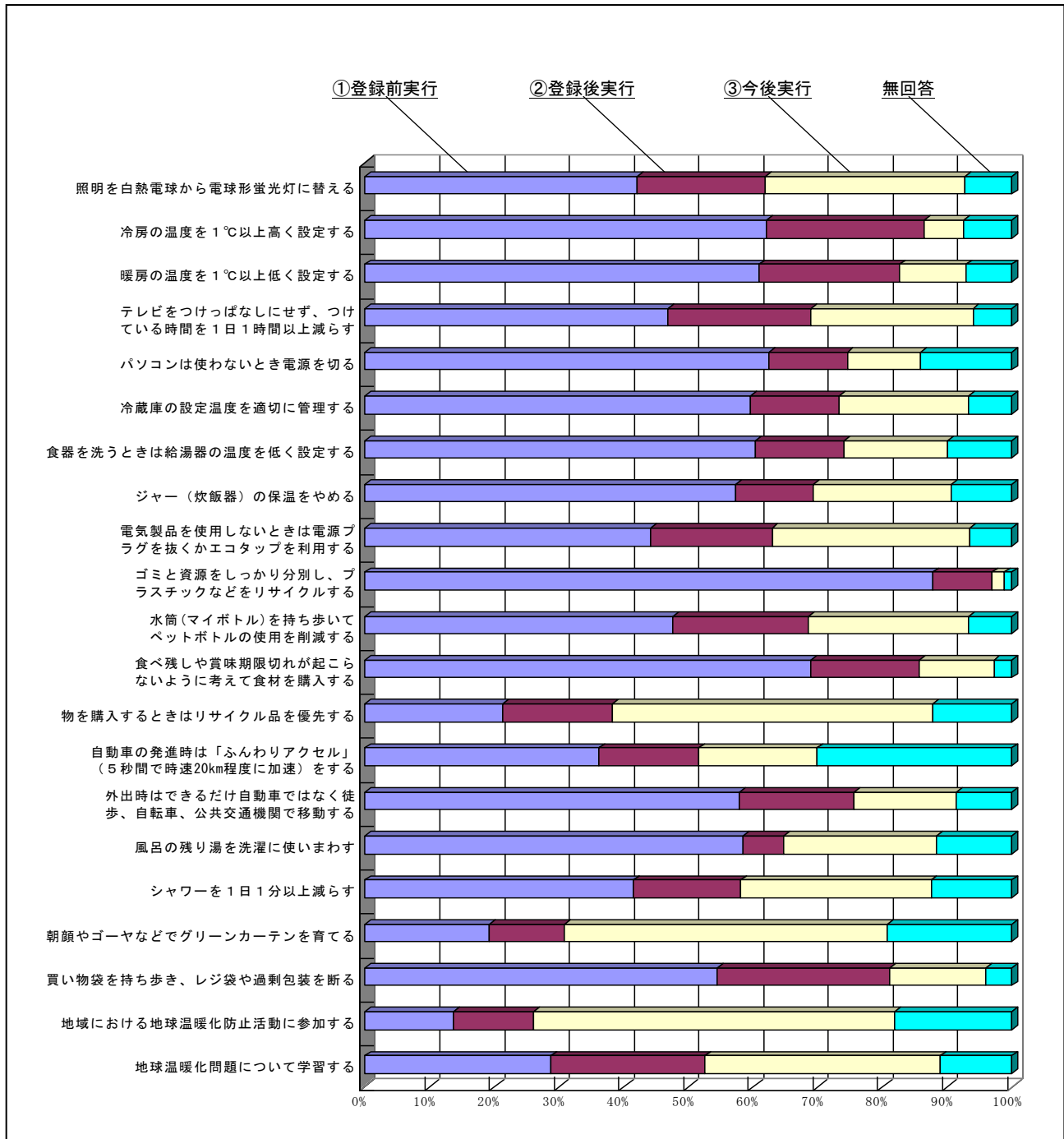
II 調査結果

1 家庭における温暖化防止の取組状況、意識について

【問 1】

次の各項目のうち、①マイアジェンダ登録前から取り組んでいること、②登録後、新たに取り組み始めたこと、③今後、取り組もうと考えていることはありますか？

(回答者数1,422人：項目ごとに答は一つ)



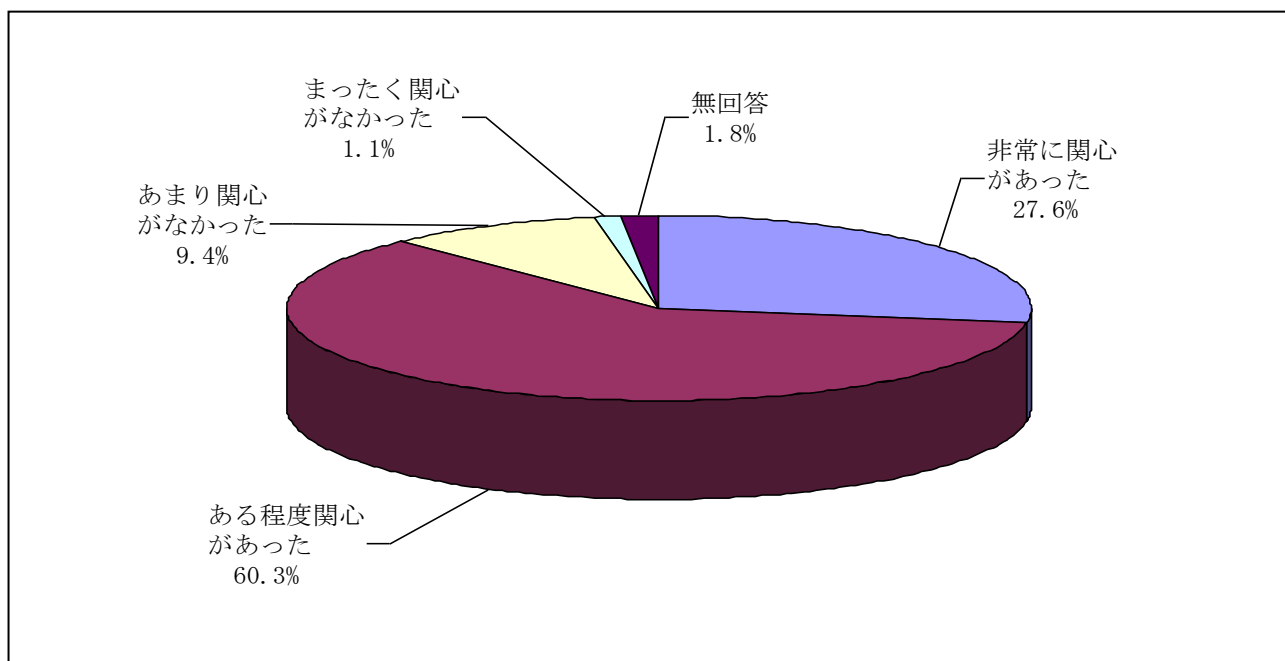
各項目の取組済みの比率(①+②)が最も高い項目は、「ゴミと資源をしっかりと分別し、プラスチックなどをリサイクルする」が96.9%、「冷房の温度を1℃以上高く設定する」が86.5%となっており、低い項目は「地域における地球温暖化防止活動に参加する」が26.1%、次いで「物を購入するときはリサイクル品を優先する」が38.3%となっている。

また、各取組みとも概ね1～2割がマイアジェンダ登録後に実行されており、マイアジェンダ登録に具体的な行動を促す一定の効果があることが検証された。

【問2】

あなたはマイアジェンダ登録前から、地球温暖化問題に関心がありましたか？

(回答者数1,422人：答は一つ)

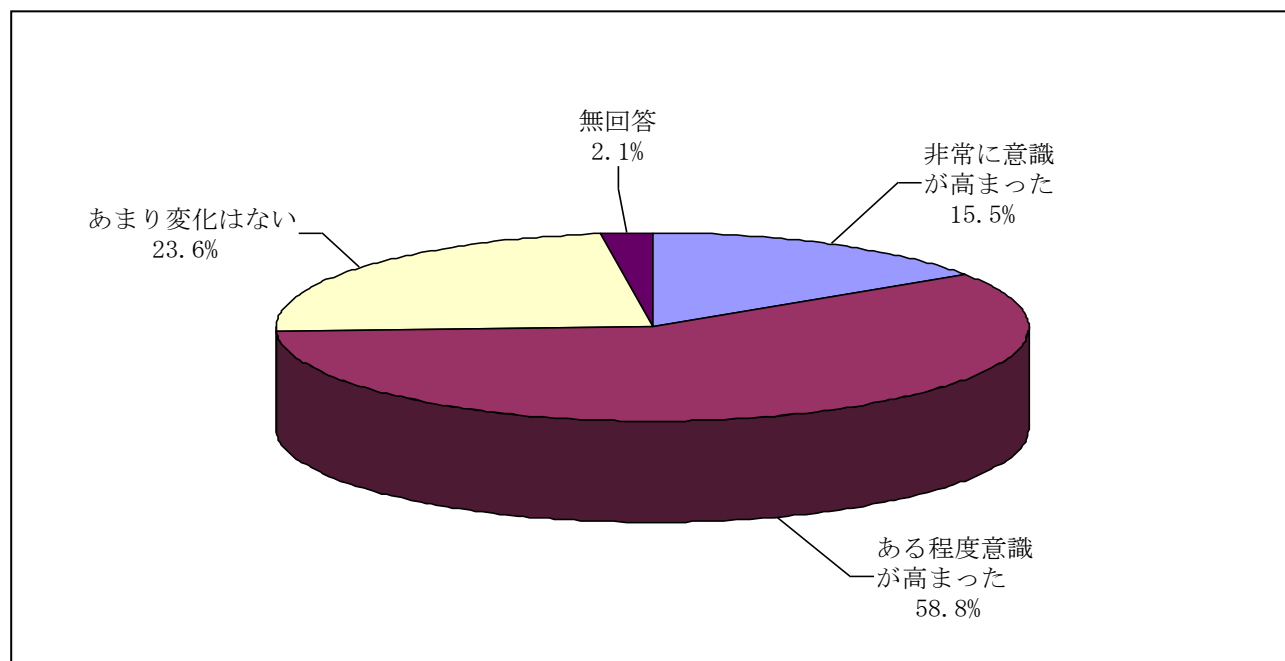


「非常に興味があった」と「ある程度関心があった」が合わせて77.9%となっており、地球温暖化問題への関心の高さがうかがわれた。

【問3】

マイアジェンダ登録を行ってから、地球温暖化問題に対してあなたの意識に変化はありましたか？

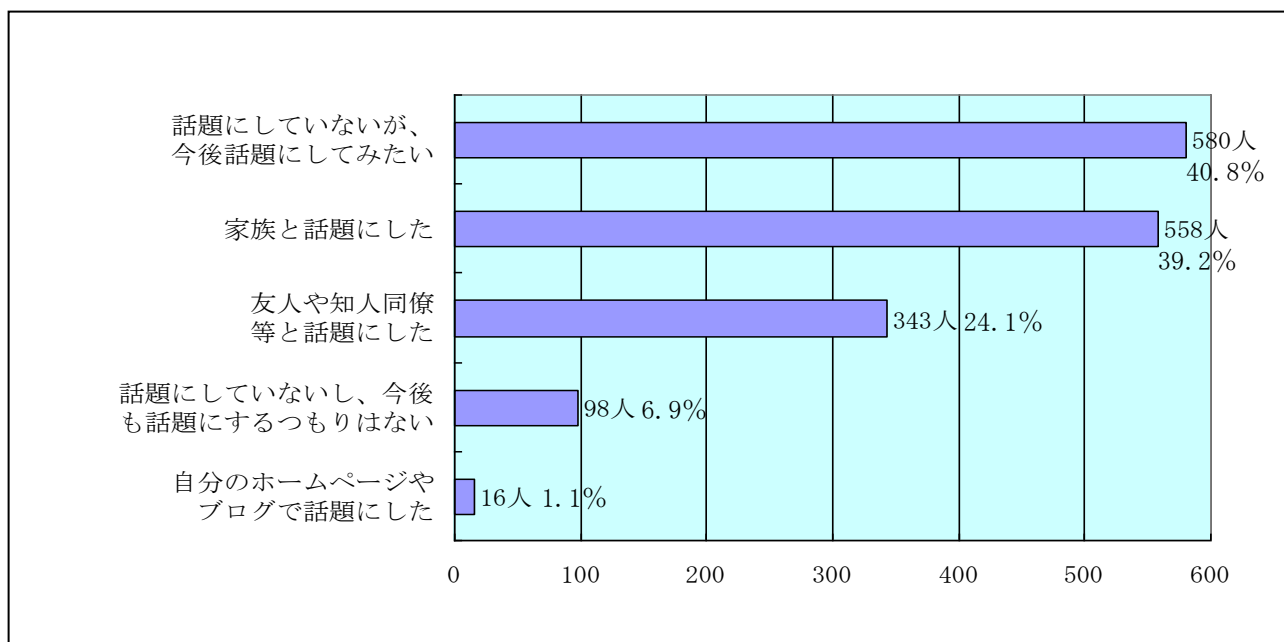
(回答者数1,422人：答は一つ)



「非常に意識が高まった」と「ある程度意識が高まった」が合わせて74.3%となっており、マイアジェンダ登録が地球温暖化問題に対する意識の高まりのきっかけになることが検証された。

【問4】

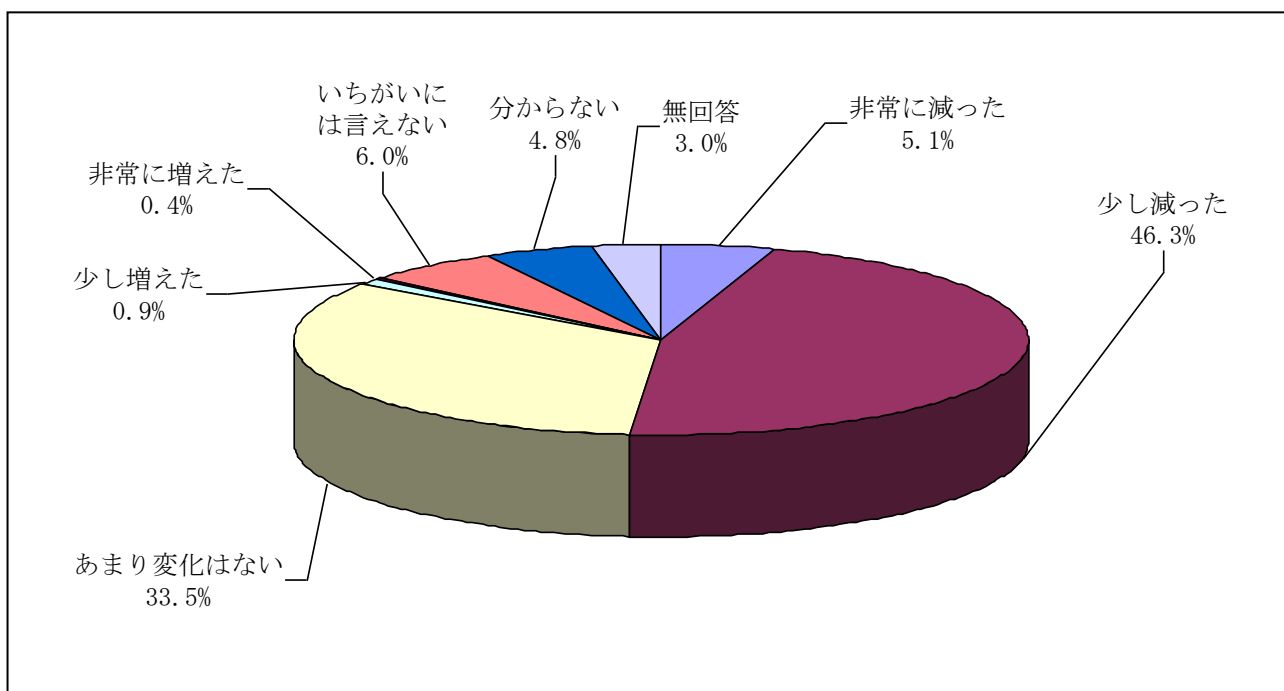
マイアジェンダ登録を行った後、マイアジェンダ登録のことを誰かに伝えたり、話題にしたりしましたか？
(回答者数1,422人：答はいくつでも)



「家族と話題にした」が39.2%、「友人や知人、同僚と話題にした」が24.1%となり、さらに「話題にしていないが今後話題にしてみたい」が40.8%となっていることから、マイアジェンダ登録が登録者の周囲の人とのコミュニケーションにより更に広がる可能性があることが検証された。

【問5】

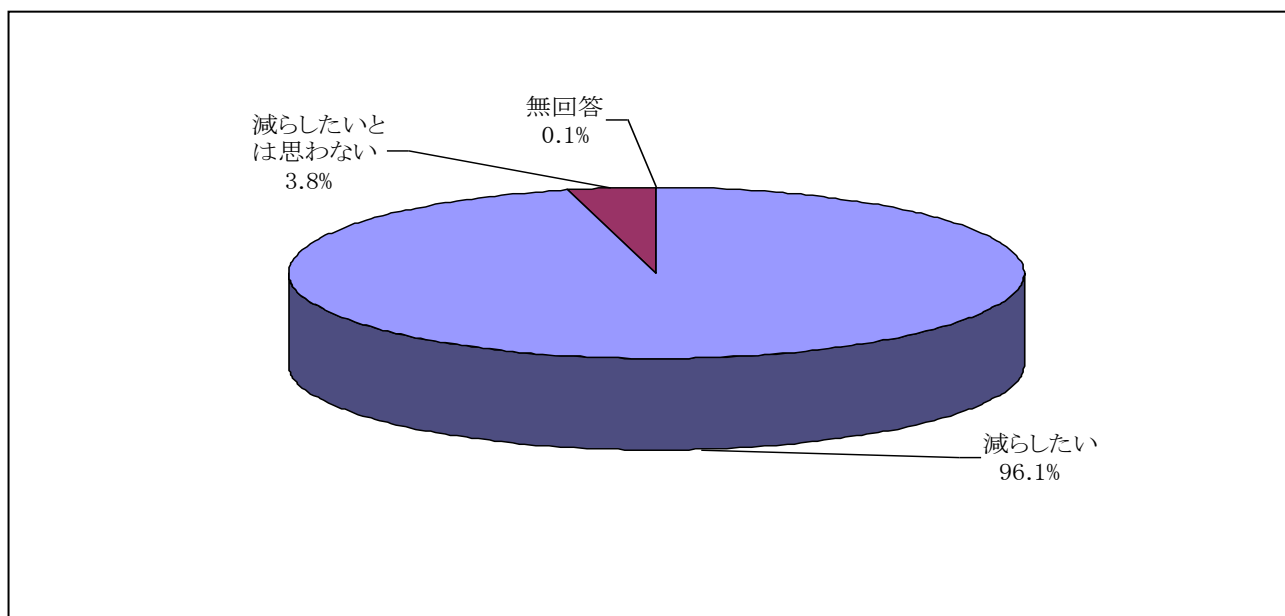
マイアジェンダ登録後、あなたの家庭の電気・ガス・水道の使用量に変化はありましたか？
(回答者数1,422人：答は一つ)



「非常に減った」と「少し減った」が合わせて51.4%となっており、マイアジェンダ登録が意識の変化だけでなく、具体的な省エネルギーにも結びつくことが検証された。

【問6】

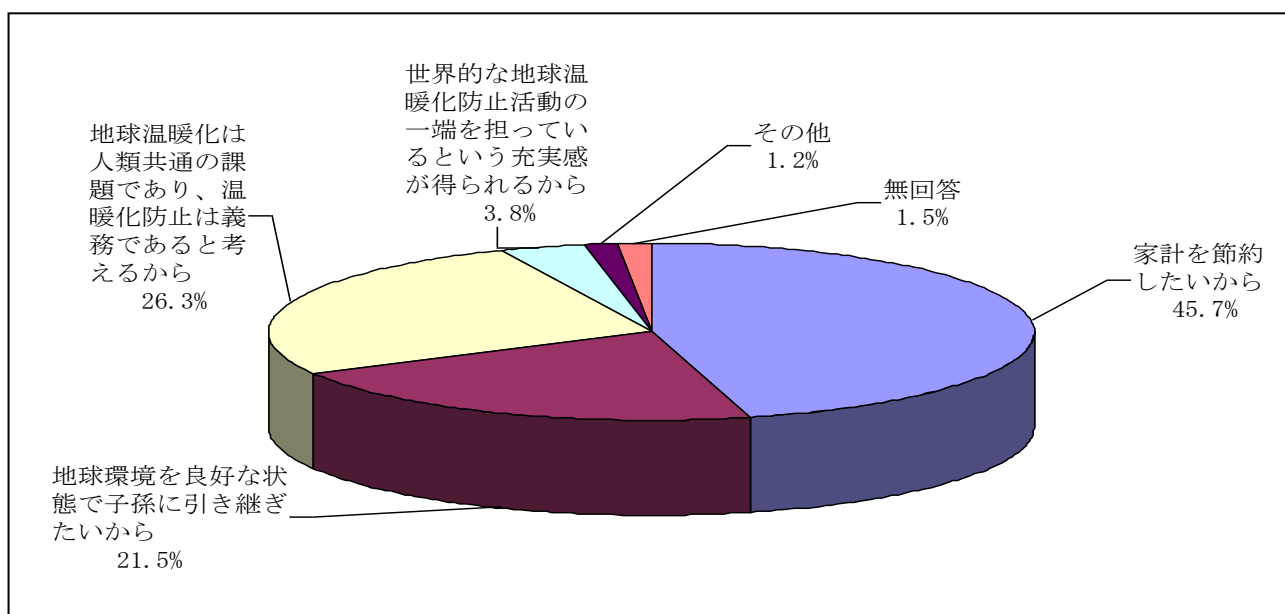
あなたの家庭で、今後、電気・ガス・水道の使用量を、現在よりも減らしていきたいと思いませんか？
(回答者数1,422人：答は一つ)



「減らしたい」が96.1%となっており、省エネ意識の高さがうかがわれた。

【問7】

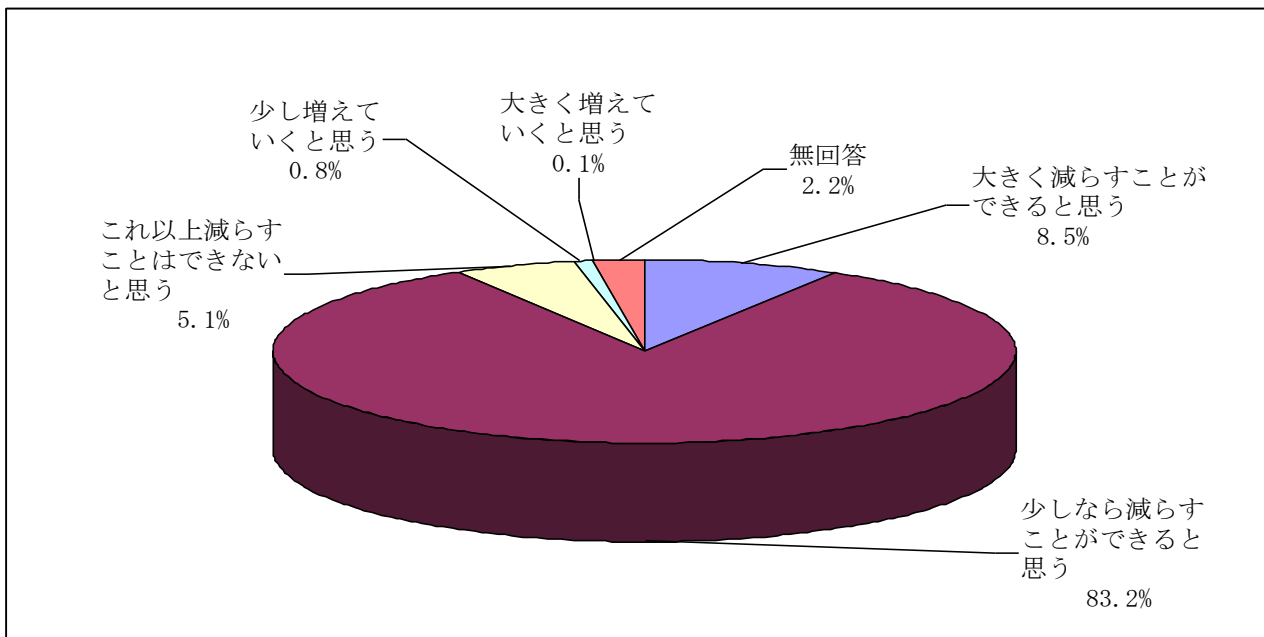
あなたが、電気・ガス・水道の使用量を、現在よりも減らしたいと思う主な理由は何ですか？
(回答者数1,367人：答は一つ)



「家計を節約したいから」が45.7%となり、省エネを実施したい理由としては、経済的な理由が大きいことがわかった。しかしながら、「地球温暖化は人類共通の課題であり、温暖化防止は義務であると考えているから」が26.3%、「地球環境を良好な状態で子孫に引き継ぎたいから」が21.5%、「世界的な地球温暖化防止活動の一端を担っているという充実感が得られるから」が3.8%で、合わせて51.6%となっており、地球温暖化防止への貢献の意識の高さもうかがわれた。

【問8】

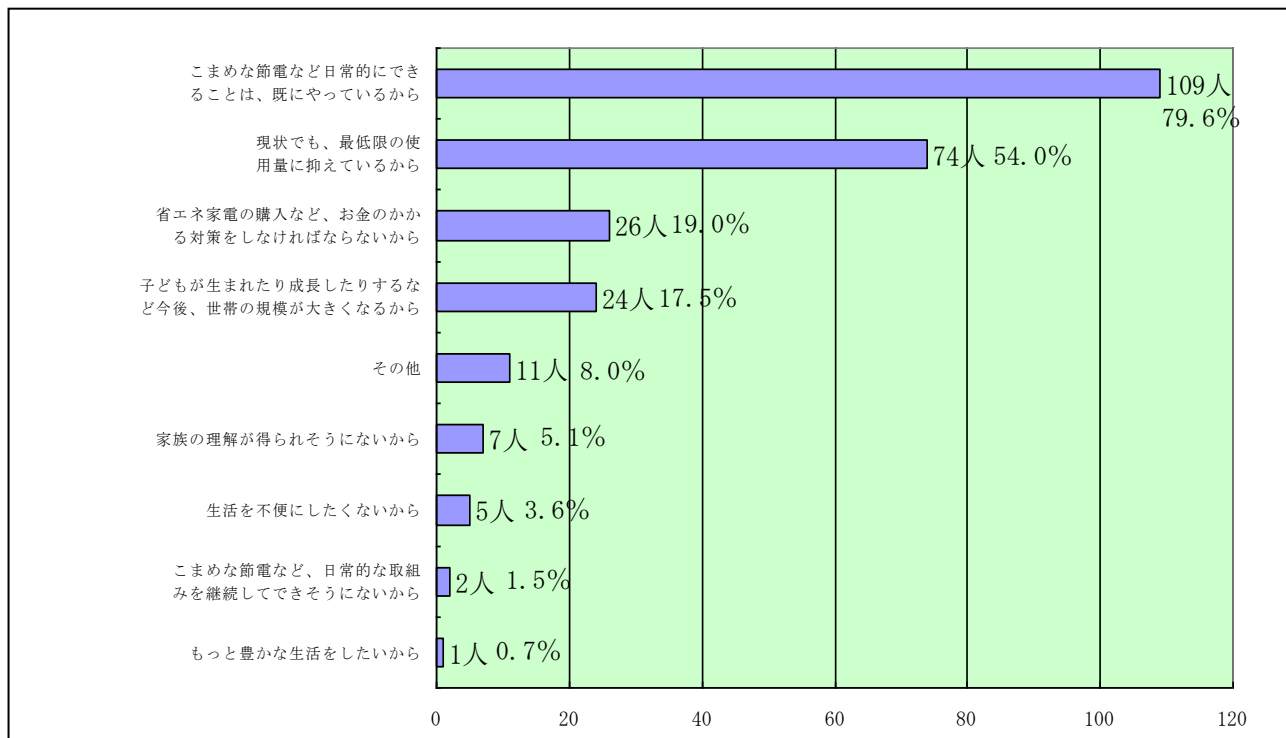
あなたの家庭で、今後、電気・ガス・水道の使用量を、現在よりも減らしていくことは可能だと思いますか？
 (回答者数1,367人：答は一つ)



「大きく減らすことができると思う」と「少しなら減らすことができると思う」が合わせて91.7%となり、更に電気・ガス・水道の使用量を減らせる可能性があるという意識を持っていることが検証された。しかし、そのうち「大きく減らすことができると思う」は8.5%で、大幅な削減が可能であるとの意識を持っている人は少ないことも検証された。

【問9】

電気・ガス・水道の使用量を、現在よりも「減らしたいとは思わない」「減らすことはできない」「増えていく」と思うのはなぜですか？ (回答者数137人：答は三つまで)

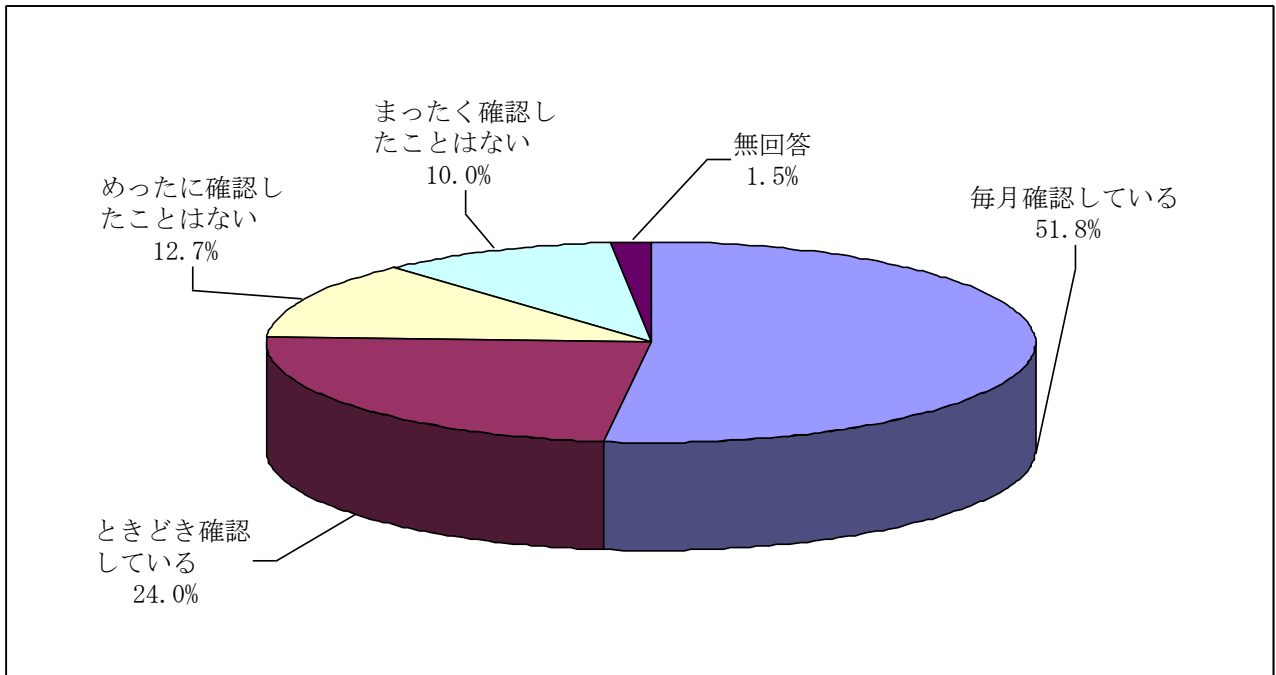


「こまめな節電など、日常的にできることは、既にやっているから」が79.6%、「現状でも、最低限の使用量に抑えているから」が54.0%となっており、できることは既にすべてやっているという認識を持っている人が多いことがうかがわれた。

【問10】

あなたは、自分で電気・ガス・水道の検針票を確認していますか？

(回答者数1,422人：答は一つ)

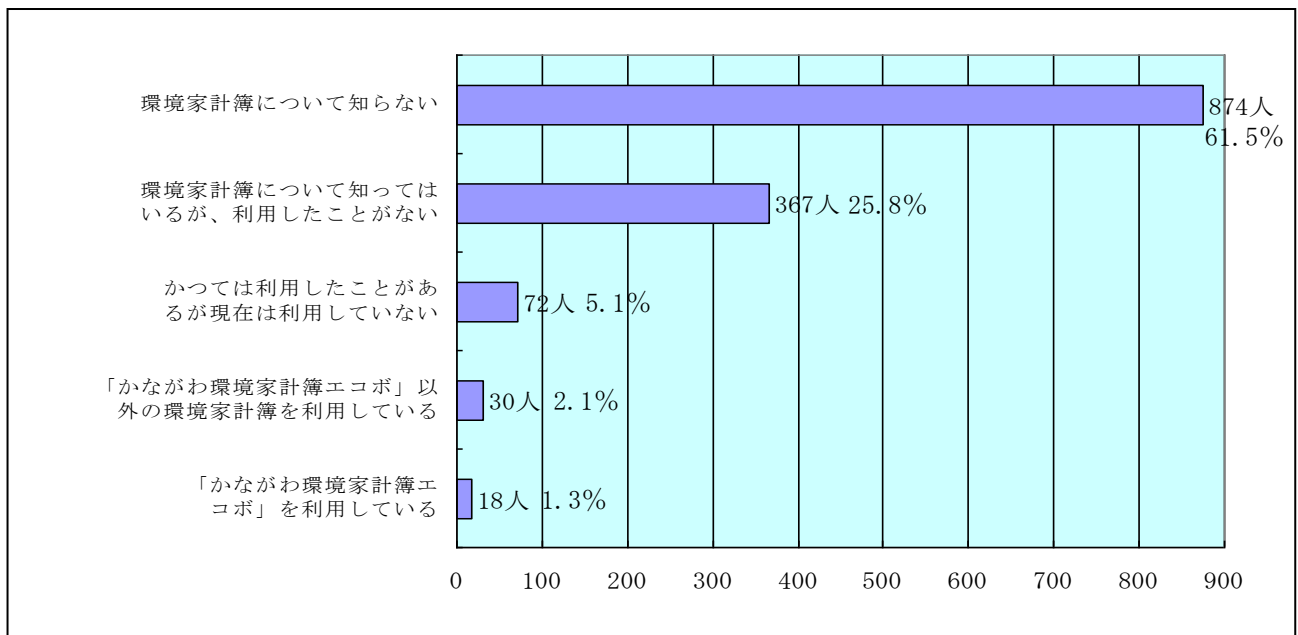


「毎月確認している」と「ときどき確認している」が合わせて75.8%となっており、家庭における地球温暖化対策の基礎となる検針票の確認については習慣となっている人が多く、環境家計簿の利用など、より進んだ取組みに展開できる可能性があることが検証された。

【問11】

あなたの家庭では、環境家計簿を利用していますか？

(回答者数1,422人：答は該当する項目すべて)

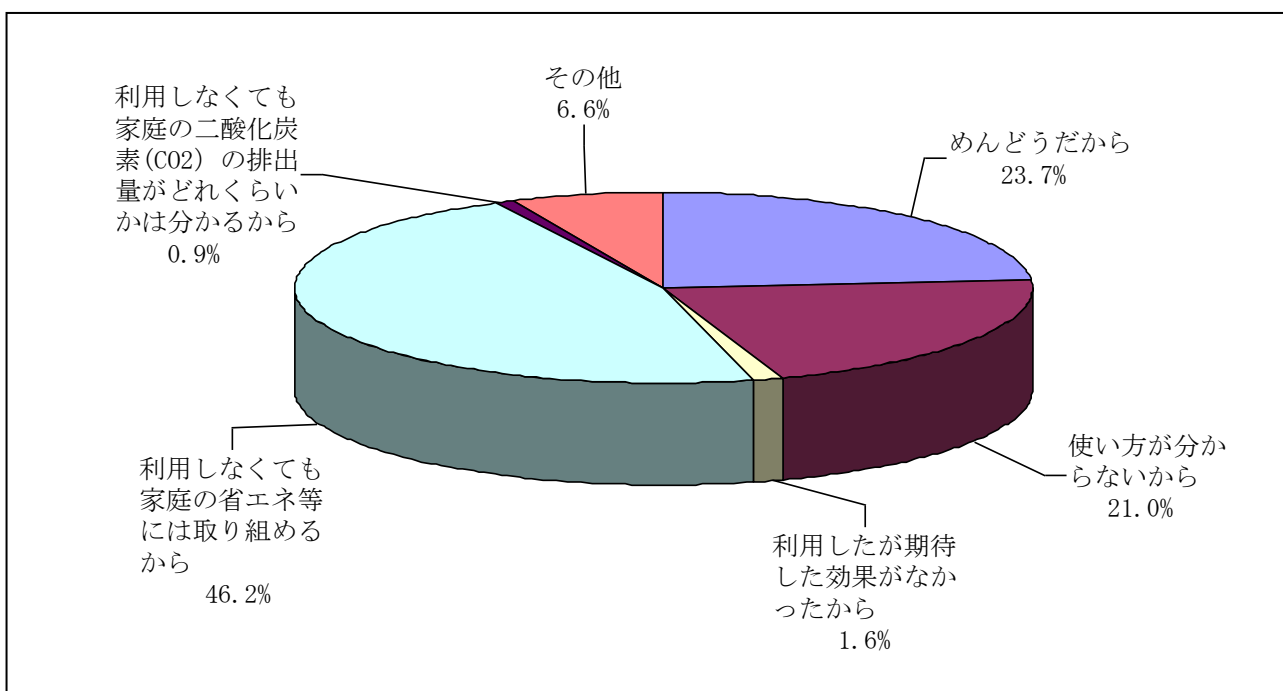


「環境家計簿については知らない」が61.5%となり、環境家計簿について更なる周知を図っていく必要があることが検証された。また、「環境家計簿については知っているが、利用したことがない」と「かつて利用したことがあるが現在は利用していない」が合わせて30.9%となっており、環境家計簿の取組みをどのように開始してもらい、さらに継続してもらうのが課題であることも検証された。

【問12】

環境家計簿を利用していない主な理由は何ですか？

(回答者数439人：答は一つ)

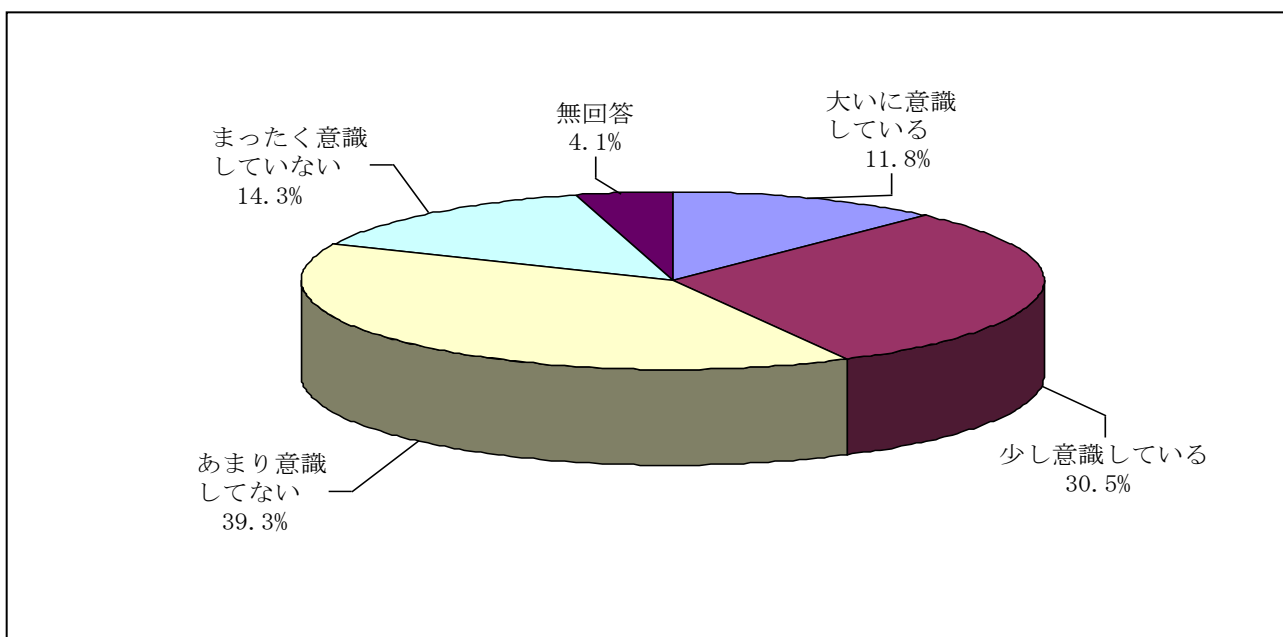


「めんどうだから」が23.7%、「使い方が分からないから」が21.0%、となっており、利用を開始するまでのきっかけづくりに更なる工夫を図る必要があることが検証された。

【問13】

商品の購入にあたり、生産されて店頭が届くまでに排出される二酸化炭素(CO₂)や、使用するときには排出されるCO₂を意識して選択しますか？

(回答者数1,422人：答は一つ)

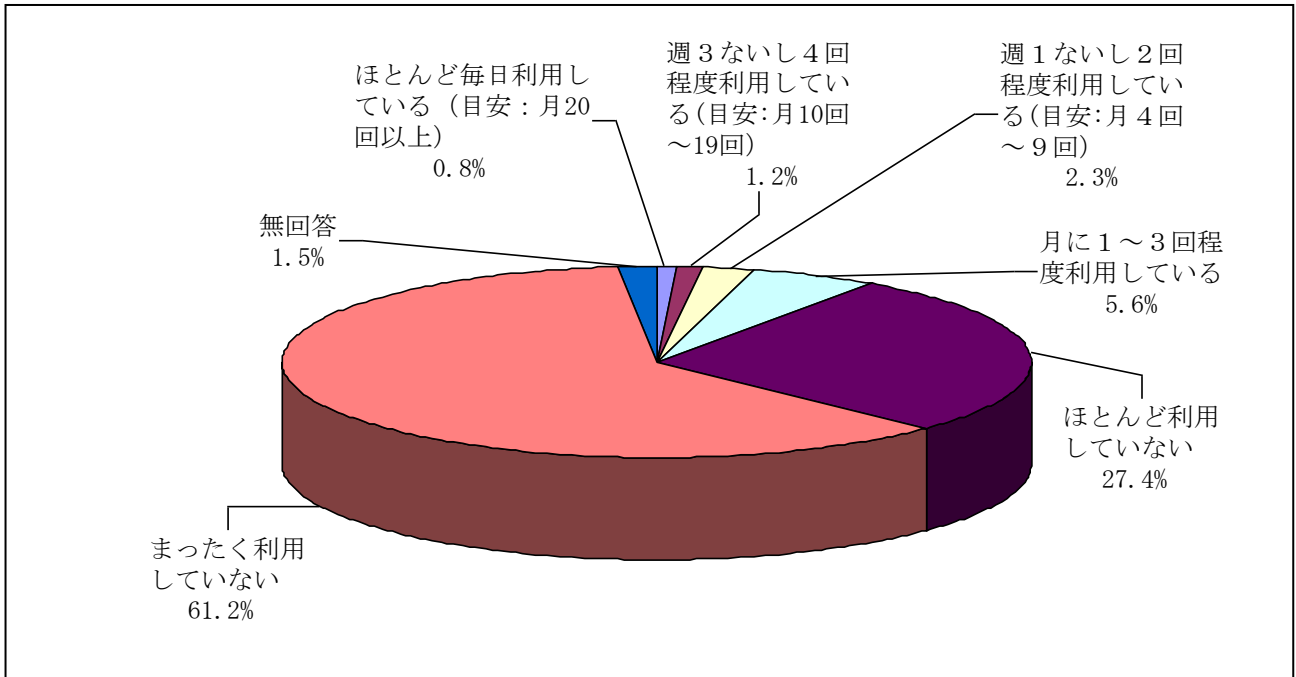


「あまり意識していない」と「まったく意識していない」が合わせて53.6%となったが、「大いに意識している」と「少し意識している」も合わせて42.3%となっており、商品の購入において既にCO₂の排出を意識している人も一定の割合を占めていることがうかがわれた。

【問14】

CO₂削減のためのライフスタイルの見直しに関連しておたずねします。

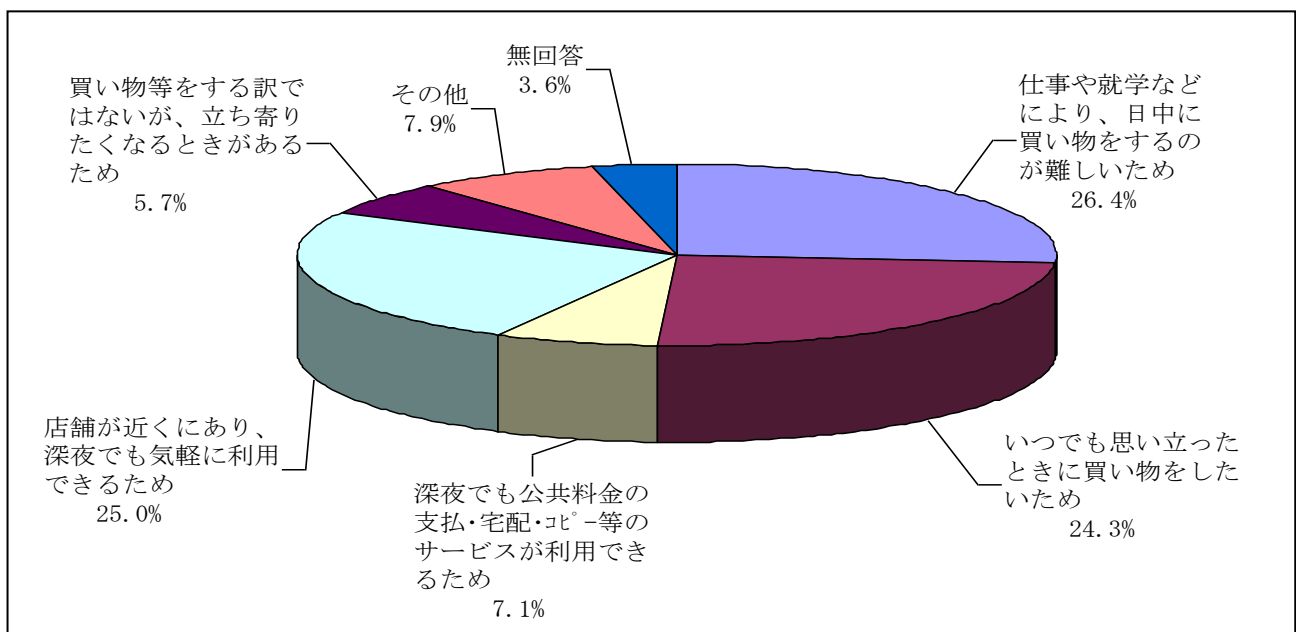
深夜（午後11時～午前4時）に、コンビニエンスストアやスーパーマーケット等を利用していますか？
（回答者数1,422人：答は一つ）



「ほとんど毎日利用している」「週3ないし4回程度利用している」「週1ないし2回程度利用している」「月に1～3回程度利用している」が合わせて9.9%となっており、コンビニエンスストア等の深夜利用をしている人は約1割であることが分かった。

【問15】

深夜（午後11時～午前4時）にコンビニエンスストアやスーパーマーケット等を利用している主な理由は何ですか？
（回答者数140人：答は一つ）

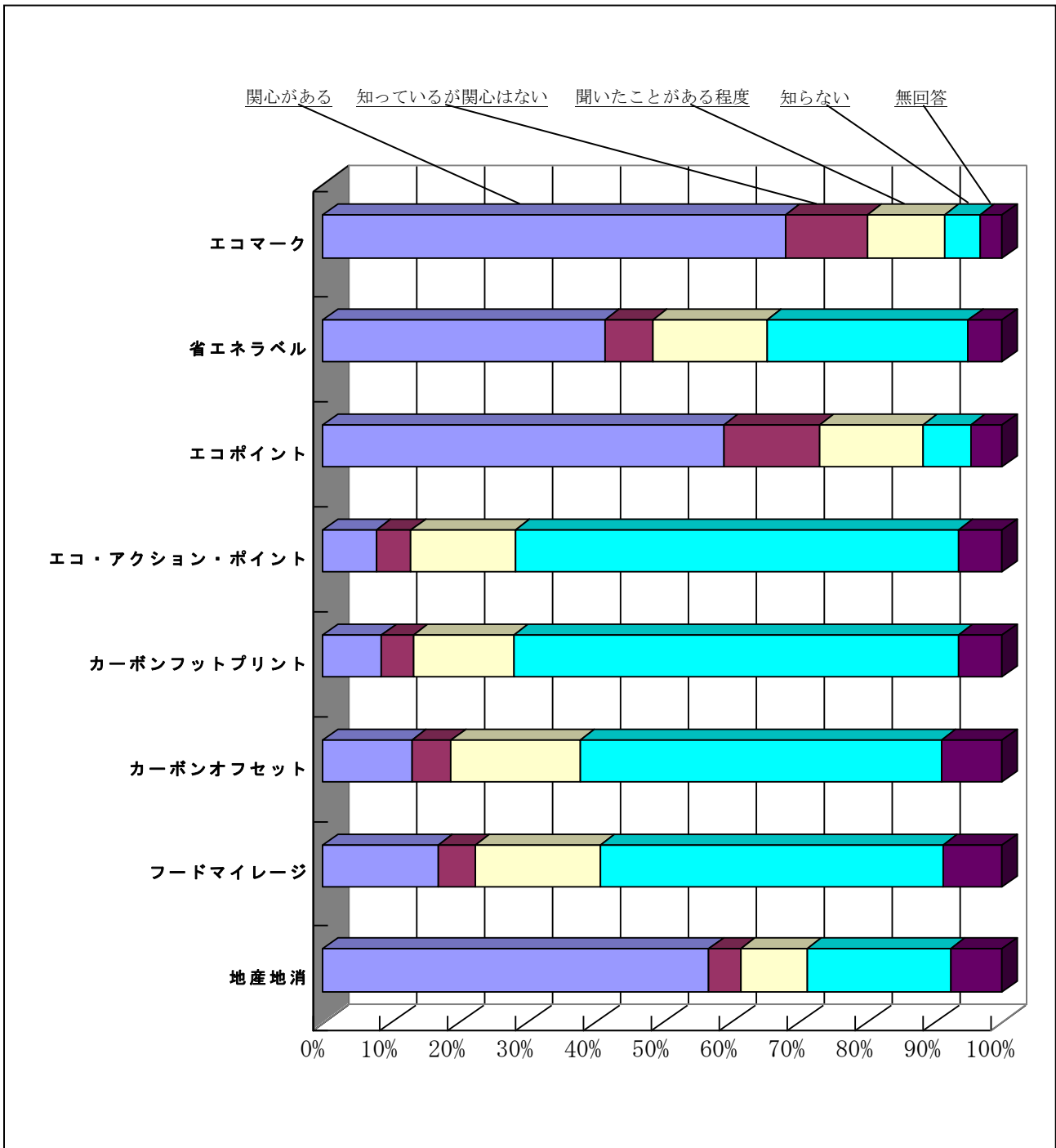


「仕事や就学などにより、日中に買い物をするのが難しいため」が26.4%となり、約4分の1の人がやむを得ずコンビニエンスストア等の深夜利用を行っている一方で、「店舗が近くにあり深夜でも気軽に利用できるため」が25.0%、「いつでも思い立ったときに買物をしたいため」が24.3%となっており、利用する人は、積極的な目的で利用をしていることが多いことが分かった。

【問16】

買い物などをするときに、次の各項目について関心はありますか？

(回答者数1,422人：項目ごとに答は一つ)

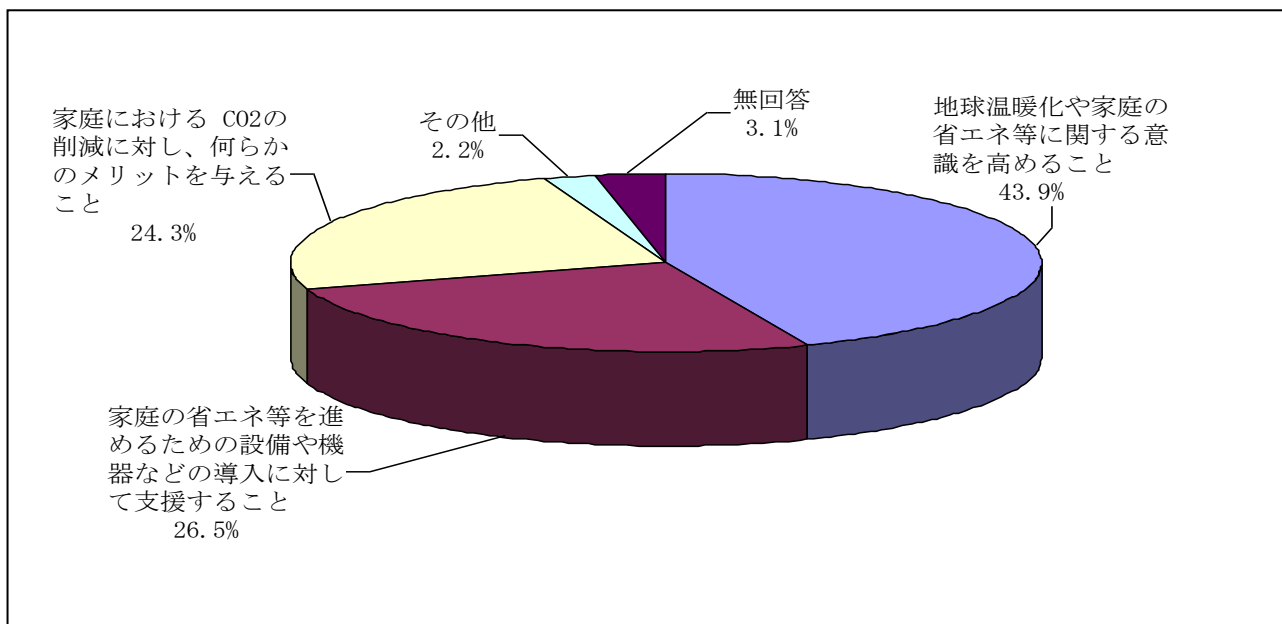


「関心がある」は、高い順に「エコマーク」が68.1%、「エコポイント」が59.0%、「地産地消」が56.8%、「省エネラベル」が41.4%となった一方、低い順では「エコ・アクション・ポイント」が7.8%、「カーボンフットプリント」が8.6%、「カーボンオフセット」が13.0%、「フードマイレージ」が16.9%となっており、認知度の高いものと低いものに大きく分かれていることが分かった。

2 家庭における温暖化防止の取組を進めるための施策について

【問17】

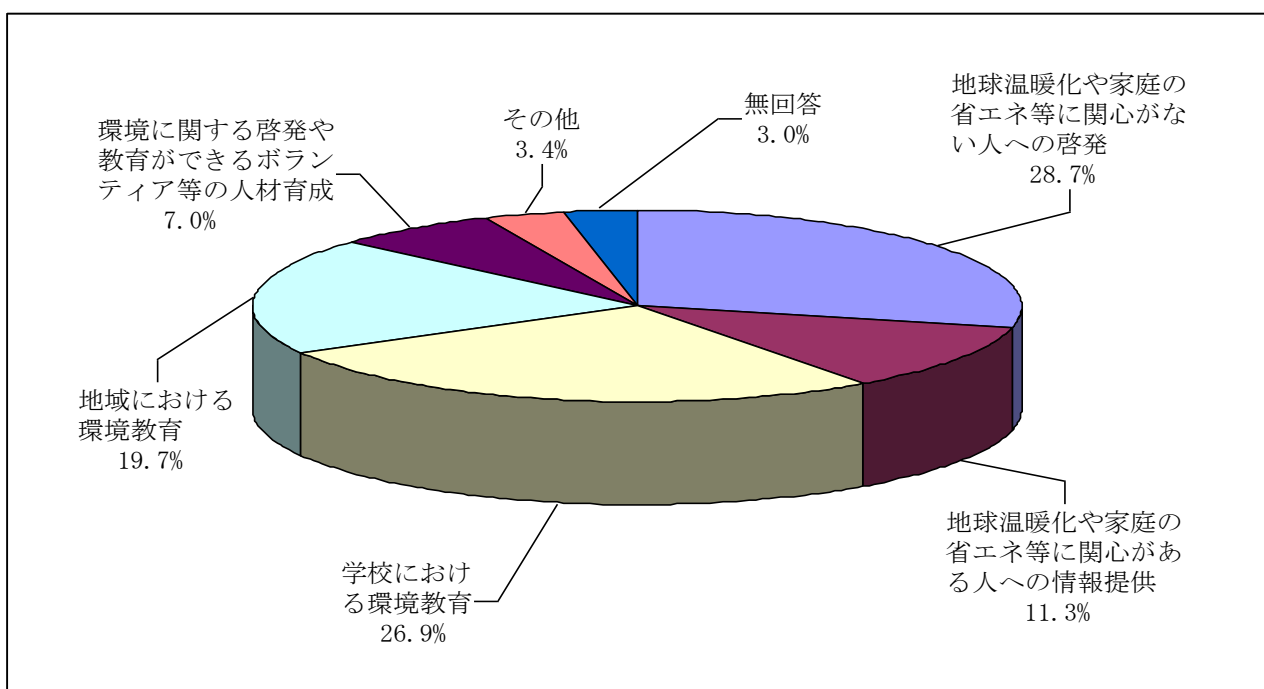
家庭におけるCO₂の排出を削減するためには、どのような分野の施策を優先的に実施すべきだと思いますか？
(回答者数1,422人：答は一つ)



「地球温暖化や家庭の省エネ等に関する意識を高めること」が43.9%となった一方で、「家庭の省エネ等を進めるための設備や機器などの導入に対して支援すること」が26.5%、「家庭におけるCO₂の削減に対し、何らかのメリットを与えること」が24.3%となっており、普及啓発的な施策、補助的な施策、インセンティブを付与する施策の各々にニーズがあることが分かった。

【問18】

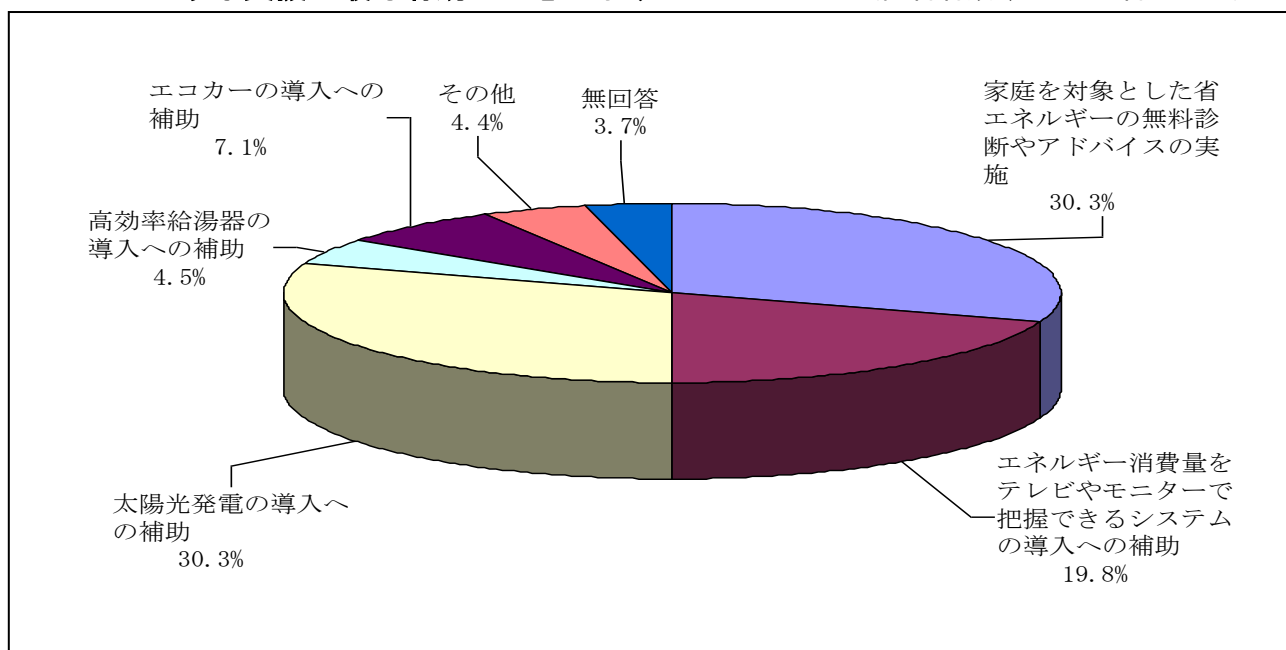
地球温暖化や家庭の省エネ等に関する意識を高めるためには、具体的にどのような施策が最も有効だと思いますか？
(回答者数1,422人：答は一つ)



「地球温暖化や家庭の省エネ等に関心のない人への啓発」が28.7%、「学校における環境教育」が26.9%、「地域における環境教育」が19.7%となっており、いくつかの施策を並行的に進めていくニーズがあることが分かった。

【問19】

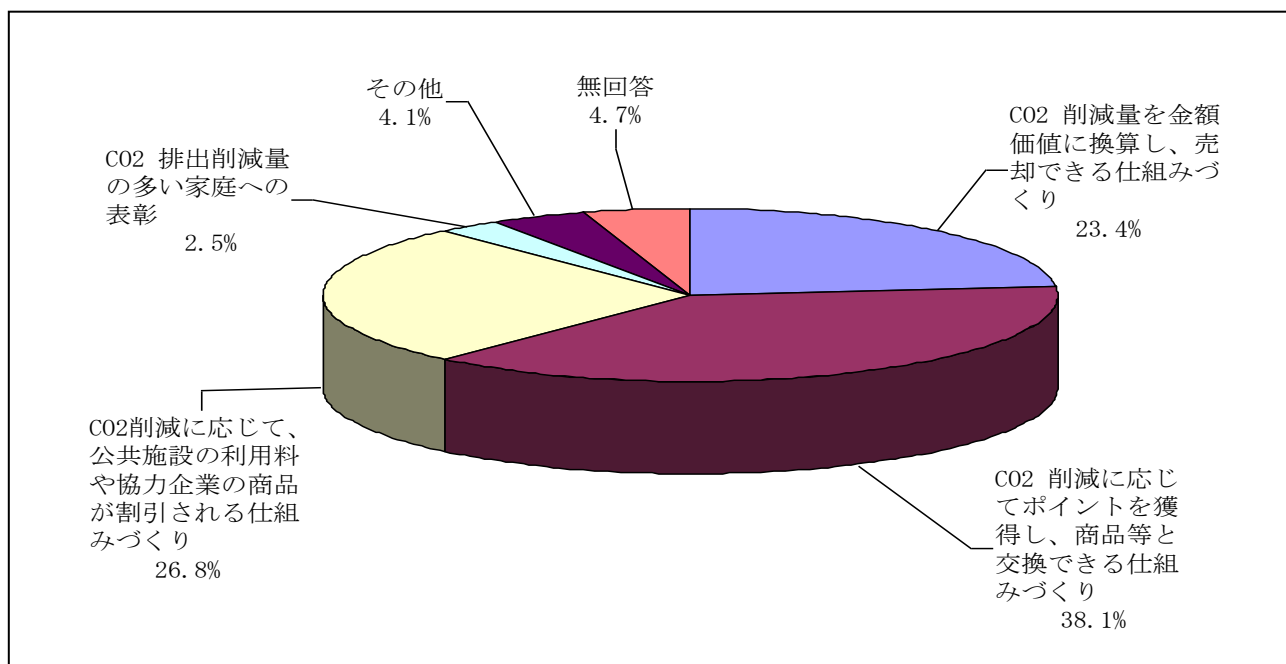
家庭の省エネ等を進めるための設備や機器などの導入を促進するためには、具体的にどのような支援が最も有効だと思いますか？ (回答者数1,422人：答は一つ)



「家庭を対象とした省エネルギーの無料診断やアドバイスの実施」と「太陽光発電の導入への補助」がそれぞれ30.3%、「エネルギー消費量をテレビやモニターで把握できるシステムの導入への補助」が19.8%となっており、多様な支援が求められていることが分かった。

【問20】

家庭におけるCO₂の削減に対し、何らかのメリットを与えるための施策としては、具体的にどのような施策が最も有効だと思いますか？ (回答者数1,422人：答は一つ)

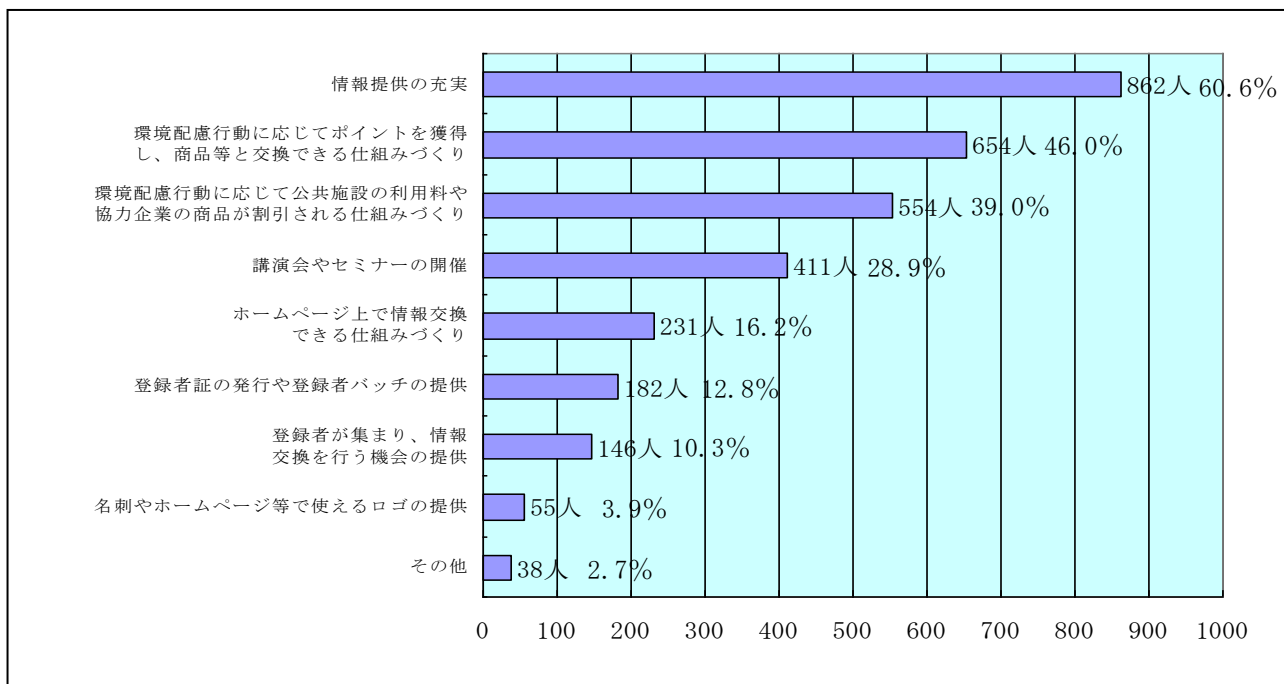


「CO₂削減に応じてポイントを獲得し、商品等と交換できる仕組みづくり」が38.1%、「CO₂削減に応じて、公共施設の利用料や協力企業の商品が割引される仕組みづくり」が26.8%、「CO₂削減量を金額価格に換算し売却できる仕組みづくり」が23.4%となっており、多様なインセンティブが求められていることが分かった。

3 マイアジェンダ制度について

【問21】

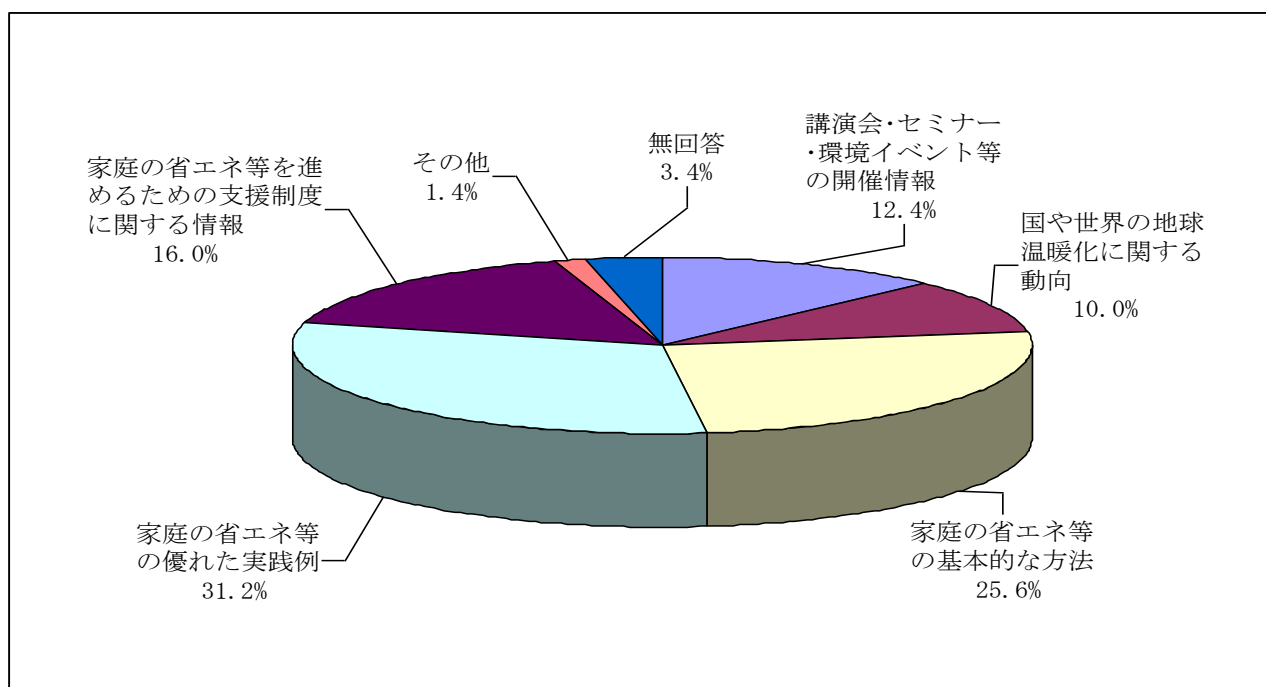
マイアジェンダ登録制度を充実させるためには、登録者を対象にどのような取組みを行うことが有効だと思いますか？
 (回答者数1,422人：答は三つまで)



「情報提供の充実」が60.6%となり、情報提供へのニーズが最も高く、それに次いで「環境配慮行動に応じてポイントを獲得し、商品等と交換できる仕組みづくり」が46.0%「環境配慮行動に応じて公共施設の利用料や、協力企業の商品が割引される仕組みづくり」が39.0%となっており、経済的インセンティブの付与へのニーズが高いことが分かった。

【問22】

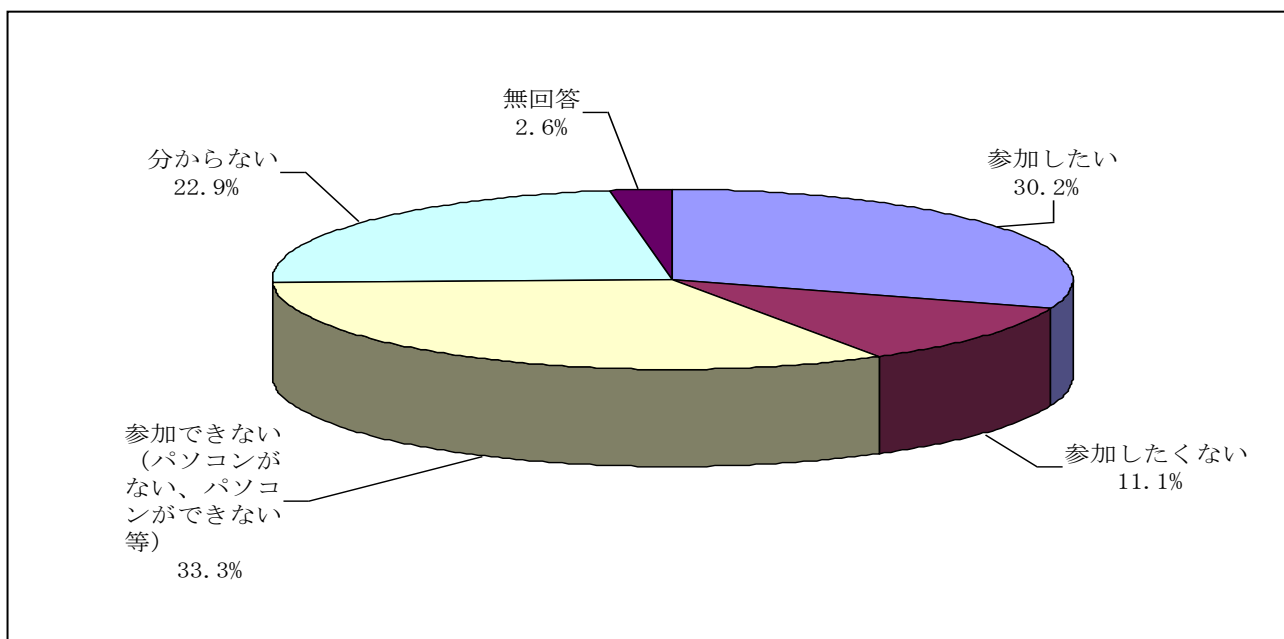
登録者への情報提供を充実させる場合、どのような情報を提供してもらいたいですか？
 (回答者数1,422人：答は一つ)



「家庭の省エネ等の優れた実践例」が31.2%、「家庭の省エネ等の基本的な方法」が25.6%となっており、家庭の省エネ等に関する実践的な情報へのニーズが高いことが分かった。

【問23】

ホームページ上で様々なテーマを設定し、情報交換を自由に行う仕組みが普及してきています。こうした仕組みを活用して、ホームページ上で家庭におけるCO₂削減の取組みについてテーマを設定し、登録者が気軽に情報交換できる仕組みができた場合、あなたは参加しますか？
 (回答者数1,422人：答は一つ)

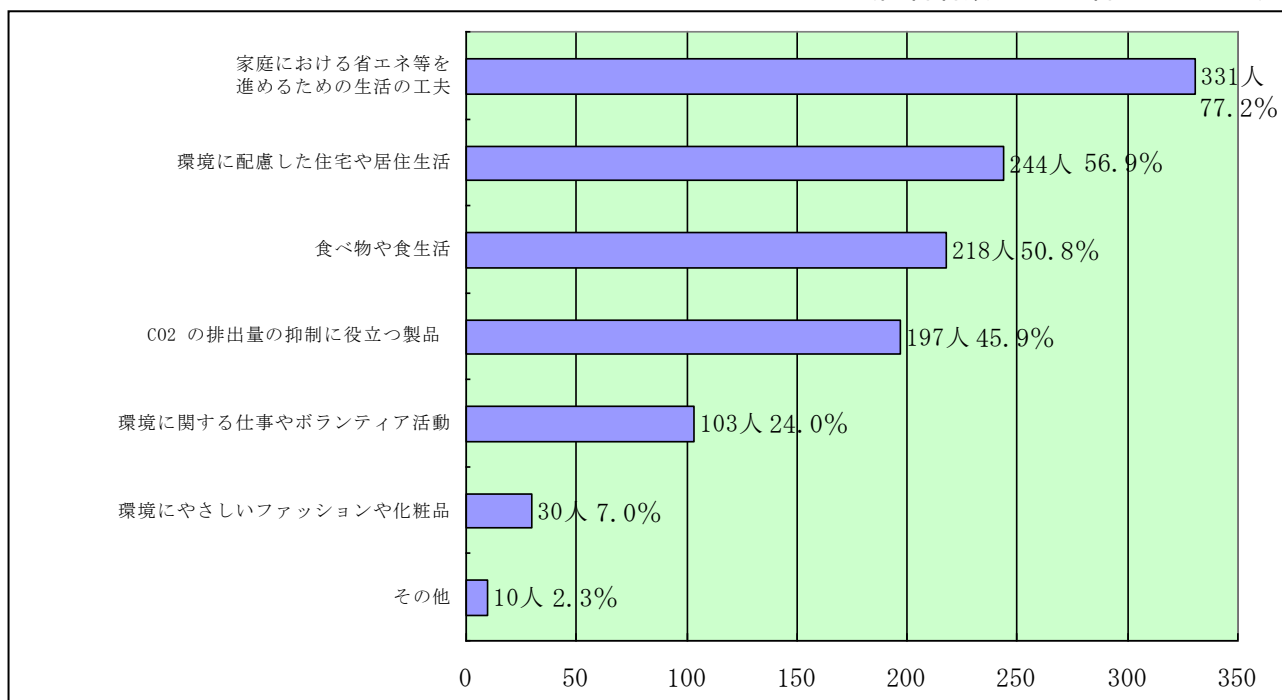


「参加したい」は30.2%であるが、「分からない」も22.9%となっており、登録者が気軽に情報交換できる仕組みができれば、参加者が広がる可能性があることが分かった。

【問24】

ホームページ上で情報交換を行う場合、どのようなテーマに興味がありますか？

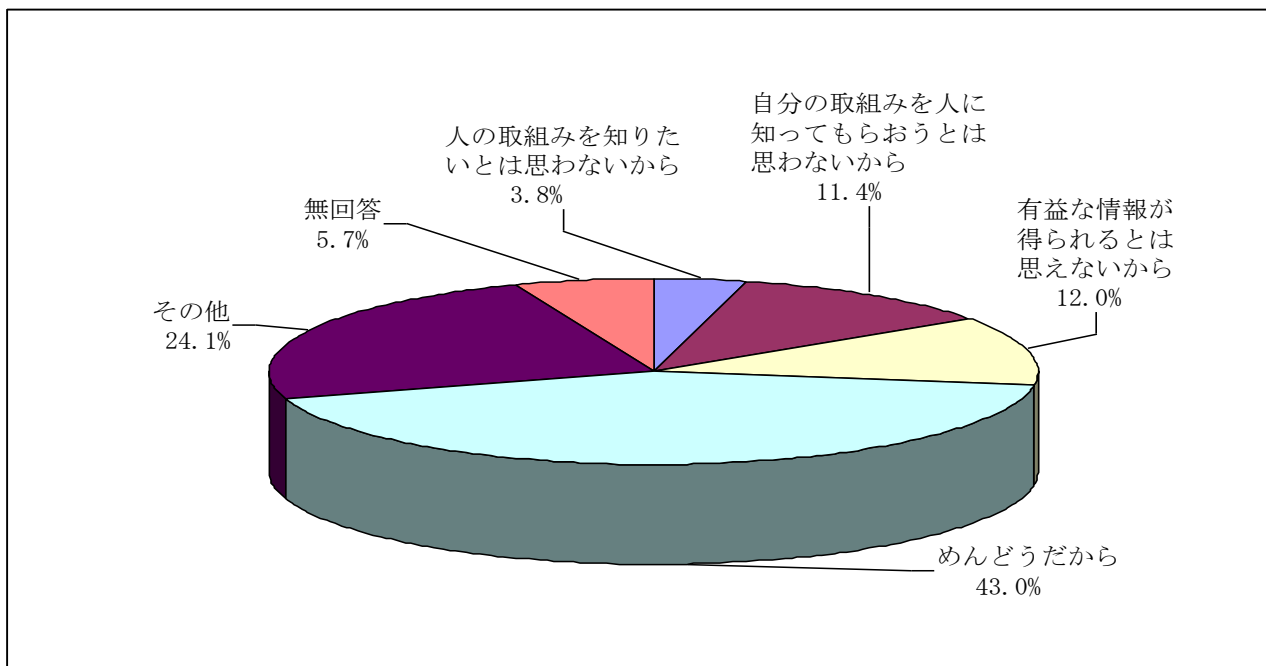
(回答者数429人：答は三つまで)



「家庭における省エネ等を進めるための生活の工夫」が77.2%で最も多かったが、「環境に配慮した住宅や居住生活」「食べ物や食生活」「CO₂の排出量の抑制に役立つ製品」も各々5割前後となっており、様々なテーマに興味を持っていることが分かった。

【問25】 ホームページ上の情報交換の仕組みに参加したくない主な理由は何ですか？

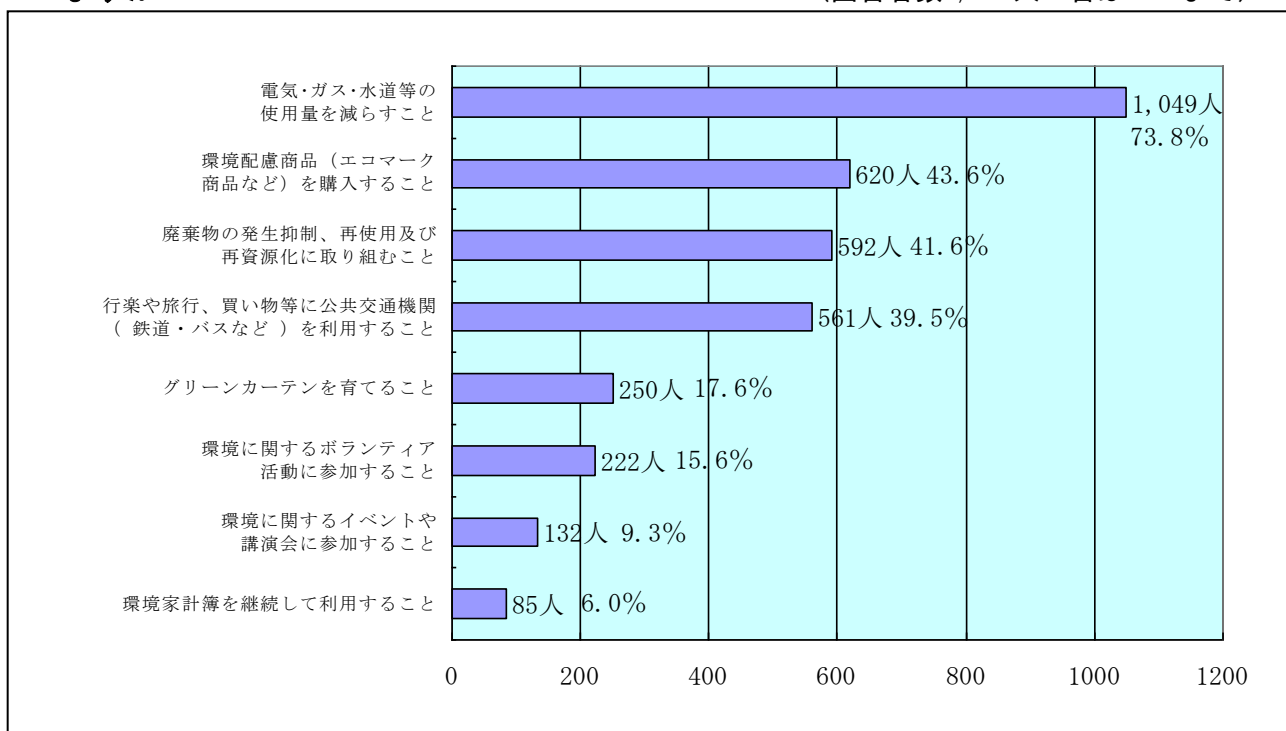
(回答者数158人：答は一つ)



「めんどうだから」が43.0%と最も多く、こうした仕組みを構築する場合は、簡単に参加できるものにする必要があることが分かった。

【問26】 登録者が環境配慮行動に応じてポイントを獲得し、何らかのメリットが得られる仕組みができる場合、どのような環境配慮行動にポイントをつけるべきだと思いますか？

(回答者数1,422人：答は三つまで)



「電気、ガス、水道等の使用量を減らすこと」が73.8%と最も多く、「環境配慮商品（エコマーク商品など）を購入すること」「廃棄物の発生抑制、再使用及び、再資源化に取り組むこと」「行楽や旅行、買い物等に公共交通機関（鉄道・バスなど）を利用すること」が各々約4割前後となっており、多様な行動を評価する必要があることが分かった。

Ⅲ 集計表

1 家庭における温暖化防止の取組状況、意識について

【問1】

次の各項目のうち、①マイアジェンダ登録前から取り組んでいること、②登録後、新たに取り組み始めたこと、③今後、取り組もうと考えていることはありますか？

(回答者数1,422人：項目ごとに答は一つ)

項 目		① 登録前 実行済	② 登録後 実行	③ 今 後 実行	無回答
エネルギー分野	1 照明を白熱電球から電球形蛍光灯に替える。	600人 (42.2%)	280人 (19.7%)	439人 (30.9%)	103人 (7.2%)
	2 冷房の温度を1℃以上高く設定する。	882人 (62.0%)	348人 (24.5%)	85人 (6.0%)	107人 (7.5%)
	3 暖房の温度を1℃以上低く設定する。	867人 (61.0%)	307人 (21.6%)	147人 (10.3%)	101人 (7.1%)
	4 テレビをつけっぱなしにせず、つけている時間を1日1時間以上減らす。	667人 (46.9%)	314人 (22.1%)	355人 (25.0%)	86人 (6.0%)
	5 パソコンは使わないとき電源を切る。	888人 (62.4%)	172人 (12.1%)	162人 (11.4%)	200人 (14.1%)
	6 冷蔵庫の設定温度を適切に管理する。	848人 (59.6%)	194人 (13.6%)	285人 (20.0%)	95人 (6.7%)
	7 食器を洗うときは給湯器の温度を低く設定する。	858人 (60.3%)	194人 (13.6%)	229人 (16.1%)	141人 (9.9%)
	8 ジャー（炊飯器）の保温をやめる。	815人 (57.3%)	170人 (12.0%)	304人 (21.4%)	133人 (9.4%)
	9 電気製品を使用しないときは電源プラグを抜くか、エコタップを利用する。	628人 (44.2%)	267人 (18.8%)	433人 (30.5%)	94人 (6.6%)
ごみ分野	10 ゴミと資源をしっかりと分別し、プラスチックなどをリサイクルする。	1,249人 (87.8%)	130人 (9.1%)	26人 (1.8%)	17人 (1.2%)
	11 水筒（マイボトル）を持ち歩いて、ペットボトルの使用を削減する。	678人 (47.7%)	296人 (20.8%)	352人 (24.8%)	96人 (6.8%)
	12 食べ残しや賞味期限切れが起こらないように考えて、食材を購入する。	981人 (69.0%)	238人 (16.7%)	163人 (11.5%)	40人 (2.8%)
	13 物を購入するときにはリサイクル品を優先する。	303人 (21.3%)	242人 (17.0%)	702人 (49.4%)	175人 (12.3%)
そら分野	14 自動車の発進時は「ふんわりアクセル」（5秒間で時速20km程度に加速）をする。	516人 (36.3%)	217人 (15.3%)	260人 (18.3%)	429人 (30.2%)
	15 外出時はできるだけ自動車ではなく、徒歩、自転車、公共交通機関で移動する。	824人 (57.9%)	250人 (17.6%)	226人 (15.9%)	122人 (8.6%)
みず分野	16 風呂の残り湯を洗濯に使いまわす。	831人 (58.4%)	90人 (6.3%)	336人 (23.6%)	165人 (11.6%)
	17 シャワーを1日1分以上減らす。	590人 (41.5%)	236人 (16.6%)	418人 (29.4%)	178人 (12.5%)
その他の分野	18 朝顔やゴーヤなどでグリーンカーテンを育てる。	275人 (19.3%)	163人 (11.5%)	709人 (49.9%)	275人 (19.3%)
	19 買い物袋を持ち歩き、レジ袋や過剰包装を断る。	774人 (54.4%)	379人 (26.7%)	211人 (14.8%)	58人 (4.1%)
	20 地域における地球温暖化防止活動に参加する。	195人 (13.7%)	176人 (12.4%)	794人 (55.8%)	257人 (18.1%)
	21 地球温暖化問題について学習する。	410人 (28.8%)	337人 (23.7%)	516人 (36.3%)	159人 (11.2%)

【問2】

あなたはマイアジェンダ登録前から、地球温暖化問題に関心がありましたか？

(回答者数1,422人：答は一つ)

項 目	回答数 (人)	回答率 (%)
1 非常に関心があった	392	27.6
2 ある程度関心があった	857	60.3
3 あまり関心がなかった	133	9.4
4 まったく関心がなかった	15	1.1
無回答	25	1.8
合 計	1,422	100.0

項 目	回答数 (人)	回答率 (%)
1 + 2 関心があった	1,249	87.8
3 + 4 関心がなかった	148	10.4
無回答	25	1.8
合 計	1,422	100.0

【問3】

マイアジェンダ登録を行ってから、地球温暖化問題に対してあなたの意識に変化はありましたか？

(回答者数1,422人：答は一つ)

項 目	回答数 (人)	回答率 (%)
1 非常に意識が高まった	221	15.5
2 ある程度意識が高まった	836	58.8
3 あまり変化はない	335	23.6
4 むしろ意識が低くなった	0	0.0
無回答	30	2.1
合 計	1,422	100.0

項 目	回答数 (人)	回答率 (%)
1 + 2 高くなった	1,057	74.3
3 あまり変化はない	335	23.6
4 低くなった	0	0.0
無回答	30	2.1
合 計	1,422	100.0

【問4】

マイアジェンダ登録を行った後、マイアジェンダ登録のことを誰かに伝えたり、話題にしたりしましたか？
(回答者数1,422人：答はいくつでも)

項 目	回答数 (人)	回答率 (%)
1 家族と話題にした	558	39.2
2 友人や知人、同僚等と話題にした	343	24.1
3 自分のホームページやブログで話題にした	16	1.1
4 話題にしていなが、今後話題にしてみたい	580	40.8
5 話題にしていなが、今後も話題にするつもりはない	98	6.9

【問5】

マイアジェンダ登録後、あなたの家庭の電気・ガス・水道の使用量に変化はありましたか？
(回答者数1,422人：答は一つ)

項 目	回答数 (人)	回答率 (%)
1 非常に減った	72	5.1
2 少し減った	659	46.3
3 あまり変化はない	477	33.5
4 少し増えた	13	0.9
5 非常に増えた	6	0.4
6 いちがいには言えない	85	6.0
7 分からない	68	4.8
無回答	42	3.0
合 計	1,422	100.0

項 目	回答数 (人)	回答率
1 + 2 減った	731	51.4
3 あまり変化はない	477	33.5
4 + 5 増えた	19	1.3
6 + 7 いちがいには言えない 分からない、無回答	195	13.7
合 計	1,422	100.0

【問6】

あなたの家庭で、今後、電気・ガス・水道の使用量を、現在よりも減らしていきたいと思いませんか？

(回答者数1,422人：答は一つ)

項 目	回答数 (人)	回答率 (%)
1 減らしたい	1,367	96.1
2 減らしたいとは思わない	54	3.8
無回答	1	0.1
合 計	1,422	100.0

【問7】

あなたが、電気・ガス・水道の使用量を、現在よりも減らしていきたいと思う主な理由は何ですか？

(回答者数1,367人：答は一つ)

項 目	回答数 (人)	回答率 (%)
1 家計を節約したいから	625	45.7
2 地球環境を良好な状態で子孫に引き継ぎたいから	294	21.5
3 地球温暖化は人類共通の課題であり、温暖化防止は義務であると考えから	359	26.3
4 世界的な地球温暖化防止活動の一端を担っているという充実感が得られるから	52	3.8
5 その他	17	1.2
無回答	20	1.5
合 計	1,367	100.0

(問7-5 その他の理由)

- ・ 原発を無くして、自然エネルギーを使って生きて行きたいから。
- ・ 節約することで自分たちのお金だけじゃなく、環境にもいいことだし一石二鳥だから。
- ・ 動物たちのすみやすい環境にしたいから。
- ・ 無駄をしていること自体がすっきりしないから。まだまだ無駄があると感じている。
- ・ 豊かになりすぎた生活を省みて、なるべく使わない生活をしたいから。

【問8】

あなたの家庭で、今後、電気・ガス・水道の使用量を、現在よりも減らしていくことは可能だと思いますか？
(回答者数1,367人：答は一つ)

項 目	回答数 (人)	回答率 (%)
1 大きく減らすことができると思う	116	8.5
2 少しなら減らすことができると思う	1,138	83.2
3 これ以上減らすことはできないと思う	70	5.1
4 少し増えていくと思う	11	0.8
5 大きく増えていくと思う	2	0.1
無回答	30	2.2
合 計	1,367	100.0

項 目	回答数 (人)	回答率
1 + 2 可能	1,254	91.7
3 減らすことはできない	70	5.1
4 + 5 増える	13	1.0
無回答	30	2.2
合 計	1,367	100.0

【問9】

電気・ガス・水道の使用量を、現在よりも「減らしたいとは思わない」「減らすことはできない」「増えていく」と思うのはなぜですか？ (回答者数137人：答は三つまで)

項 目	回答数 (人)	回答率 (%)
1 こまめな節電など、日常的な取組みを継続してできそうにないから	2	1.5
2 こまめな節電など、日常的にできることは、既にやっているから	109	79.6
3 省エネ家電の購入など、お金のかかる対策をしなければならないから	26	19.0
4 家族の理解が得られそうにないから	7	5.1
5 現状でも最低限の使用量に抑えているから	74	54.0
6 生活を不便にしたくないから	5	3.6
7 もっと豊かな生活をしたいから	1	0.7
8 子どもが生まれたり成長したりするなど、今後、世帯の規模が大きくなるから	24	17.5
9 その他	11	8.0

(問9-9 その他)

- ・ 苦しくなるほどには、できないと思う。
- ・ 現在一人一日中仕事に行き、家にほとんどいない。
- ・ 太陽光、エコキュート、省エネ家電導入済みのため、これ以上の削減は難しいから。

【問10】

あなたは、自分で電気・ガス・水道の検針票を確認していますか？

(回答者数1,422人：答は一つ)

項 目	回答数 (人)	回答率 (%)
1 毎月確認している	737	51.8
2 ときどき確認している	341	24.0
3 めったに確認したことはない	180	12.7
4 まったく確認したことはない	142	10.0
無回答	22	1.5
合 計	1,422	100.0

項 目	回答数 (人)	回答率
1 + 2 確認している	1,078	75.8
3 + 4 確認したことはない	322	22.6
無回答	22	1.5
合 計	1,422	100.0

【問11】

あなたの家庭では、環境家計簿を利用していますか？

(回答者数1,422人：答は該当する項目すべて)

項 目	回答数 (人)	回答率 (%)
1 「かながわ環境家計簿エコボ」を利用している	18	1.3
2 「かながわ環境家計簿エコボ」以外の環境家計簿を利用している	30	2.1
3 かつては利用したことがあるが、現在は利用していない	72	5.1
4 環境家計簿について知っているが、利用したことがない	367	25.8
5 環境家計簿について知らない	874	61.5

(問11-2 エコボ以外の環境家計簿)

- ・ 明るい暮らしの家計簿
- ・ 会社が準備している環境家計簿
- ・ 自作
- ・ 白くまランド
- ・ ユウの家計簿 (領収証が貼れる)

【問12】

環境家計簿を利用していない主な理由は何ですか？

(回答者数439人：答は一つ)

項 目	回答数 (人)	回答率 (%)
1 めんどうだから	104	23.7
2 使い方が分からないから	92	21.0
3 利用したが期待した効果がなかったから	7	1.6
4 利用しなくても家庭の省エネ等には取り組めるから	203	46.2
5 利用しなくても家庭の二酸化炭素 (CO ₂) の排出量がどれくらいかは分かるから	4	0.9
6 その他	29	6.6
無回答	0	0.0
合 計	439	100.0

(問 12-6 その他の理由)

- ・忙しくて記入してられない。
- ・状況把握できているから、つける必要を感じない。
- ・環境家計簿について知らない。
- ・長期に渡って取り組めない。
- ・利用したいが、我が家において効果が期待できるか疑問。

【問13】

商品の購入にあたり、生産されて店頭が届くまでに排出される二酸化炭素(CO₂)や、使用するときには排出されるCO₂を意識して選択しますか？

(回答者数1,422人：答は一つ)

項 目	回答数 (人)	回答率 (%)
1 大いに意識している	168	11.8
2 少し意識している	434	30.5
3 あまり意識していない	559	39.3
4 まったく意識していない	203	14.3
無回答	58	4.1
合 計	1,422	100.0

項 目	回答数 (人)	回答率
1 + 2 意識している	602	42.3
3 + 4 意識していない	762	53.6
無回答	58	4.1
合 計	1,422	100.0

【問14】

CO₂削減のためのライフスタイルの見直しに関連しておたずねします。

深夜（午後11時～午前4時）に、コンビニエンスストアやスーパーマーケット等を利用していますか？

（回答者数1,422人：答は一つ）

項 目	回答数 (人)	回答率 (%)
1 ほとんど毎日利用している（目安：月20回以上）	11	0.8
2 週3ないし4回程度利用している（目安：月10回～19回）	17	1.2
3 週1ないし2回程度利用している（目安：月4回～9回）	33	2.3
4 月に1～3回程度利用している	79	5.6
5 ほとんど利用していない	390	27.4
6 まったく利用していない	870	61.2
無回答	22	1.5
合 計	1,422	100.0

項 目	回答数 (人)	回答率 (%)
1 + 2 + 3 + 4 利用している	140	9.8
5 + 6 利用していない	1,260	88.6
無回答	22	1.5
合 計	1,422	100.0

【問15】

深夜（午後11時～午前4時）にコンビニエンスストアやスーパーマーケット等を利用している主な理由は何ですか？

（回答者数140人：答は一つ）

項 目	回答数 (人)	回答率 (%)
1 仕事や就学などにより、日中に買い物をするのが難しいため	37	26.4
2 いつでも思い立ったときに買い物をしたいため	34	24.3
3 深夜でも公共料金の支払、宅配、コピー等のサービスが利用できるため	10	7.1
4 店舗が近くにあり、深夜でも気軽に利用できるため	35	25.0
5 買い物等をする訳ではないが、立ち寄りたくなるときがあるため	8	5.7
6 その他	11	7.9
無回答	5	3.6
合 計	140	100.0






（問15-6 深夜コンビニを利用しているその他の理由）

- ・コピー機利用の為、混雑を避け夜遅くの利用が便利だから。
- ・早朝早くから釣りに行くから。
- ・タイムサービス 30～50%安くなるので。

【問16】

買い物などをするときに、次の各項目について関心はありますか？

(回答者数1,422人：項目ごとに答は一つ)

項目	関心度	関心度				
		関心がある	知っている が関心はない	聞いたこと がある程度	知らない	無回答
エコマーク		969人 (68.1%)	170人 (12.0%)	163人 (11.5%)	73人 (5.1%)	47人 (3.3%)
省エネラベル		589人 (41.4%)	100人 (7.0%)	240人 (16.9%)	422人 (29.7%)	71人 (5.0%)
エコポイント		839人 (59.0%)	200人 (14.1%)	217人 (15.3%)	100人 (7.0%)	66人 (4.6%)
エコ・アクション・ポイント		111人 (7.8%)	73人 (5.1%)	218人 (15.3%)	929人 (65.3%)	91人 (6.4%)
カーボンフットプリント		123人 (8.6%)	65人 (4.6%)	212人 (14.9%)	931人 (65.5%)	91人 (6.4%)
カーボンオフセット		185人 (13.0%)	83人 (5.8%)	269人 (18.9%)	758人 (53.3%)	127人 (8.9%)
フードマイレージ		240人 (16.9%)	77人 (5.4%)	264人 (18.6%)	716人 (50.4%)	125人 (8.8%)
地産地消		808人 (56.8%)	67人 (4.7%)	138人 (9.7%)	302人 (21.2%)	107人 (7.5%)

2 家庭における温暖化防止の取組を進めるための施策について

【問17】

家庭におけるCO₂の排出を削減するためには、どのような分野の施策を優先的に実施すべきだと思いますか？

(回答者数1,422人：答は一つ)

項 目	回答数 (人)	回答率 (%)
1 地球温暖化や家庭の省エネ等に関する意識を高めること	624	43.9
2 家庭の省エネ等を進めるための設備や機器などの導入に対して支援すること	377	26.5
3 家庭におけるCO ₂ の削減に対し、何らかのメリットを与えること	346	24.3
4 その他	31	2.2
無回答	44	3.1
合 計	1,422	100.0

(問17-4 その他の優先的に実施すべき施策)

- ・家庭におけるCO₂排出になんらかのペナルティを科す。
- ・環境税の導入など、経済的負担を与えること。
- ・簡単に出来ることをいくつも紹介して、気軽にできるようにする。

【問18】

地球温暖化や家庭の省エネ等に関する意識を高めるためには、具体的にどのような施策が最も有効だと思いますか？

(回答者数1,422人：答は一つ)

項 目	回答数 (人)	回答率 (%)
1 地球温暖化や家庭の省エネ等に関心が <u>ない</u> 人への啓発	408	28.7
2 地球温暖化や家庭の省エネ等に関心が <u>ある</u> 人への情報提供	161	11.3
3 学校における環境教育	383	26.9
4 地域における環境教育	280	19.7
5 環境に関する啓発や教育ができるボランティア等の人材育成	99	7.0
6 その他	48	3.4
無回答	43	3.0
合 計	1,422	100.0

(問18-6 その他の意識を高めるための施策)

- ・TV新聞などマスコミを使って情報提供。
- ・エコな生活をしている素敵な人を紹介していく。
- ・学校だとか地域とか分けずに誰にでも情報提供をし、環境について理解してもらうことが必要。
- ・子どもに環境教育を学習、実験、体験させることが大切である。学校における環境教育から家庭への話題につなげる。

【問19】

家庭の省エネ等を進めるための設備や機器などの導入を促進するためには、具体的にどのような支援が最も有効だと思いますか？ (回答者数1,422人：答は一つ)

項 目	回答数 (人)	回答率 (%)
1 家庭を対象とした省エネルギーの無料診断やアドバイスの実施	431	30.3
2 エネルギー消費量をテレビやモニターで把握できるシステムの導入への補助	281	19.8
3 太陽光発電の導入への補助	431	30.3
4 高効率給湯器の導入への補助	64	4.5
5 エコカーの導入への補助	101	7.1
6 その他	62	4.4
無回答	52	3.7
合 計	1,422	100.0

(問19-6 その他の省エネを進めるための設備や機器などの導入促進支援)

- ・CO₂削減効果の大きい機器 10位までについて補助を多くする。
- ・安易に新規機器を進めるべきではない。LCAを考えるべき。古い機器を処分するにもエネルギーが必要。
- ・変えなければ補助を受けられないような支援は全体的でないから、大きく有効とは思えない。この問いでふさわしいと思えるものはない。
- ・機器を問わず省エネ性能に応じた幅広い補助。
- ・太陽光は補助ではなく無料設置。

【問20】

家庭におけるCO₂の削減に対し、何らかのメリットを与えるための施策としては、具体的にどのような施策が最も有効だと思いますか？ (回答者数1,422人：答は一つ)

項 目	回答数 (人)	回答率 (%)
1 CO ₂ 削減量を金額価値に換算し、売却できる仕組みづくり	333	23.4
2 CO ₂ 削減に応じてポイントを獲得し、商品等と交換できる仕組みづくり	542	38.1
3 CO ₂ 削減に応じて、公共施設の利用料や協力企業の商品が割引される仕組みづくり	381	26.8
4 CO ₂ 排出削減量の多い家庭への表彰	41	2.5
5 その他	58	4.1
無回答	67	4.7
合 計	1,422	100.0

(問20-5 その他のCO₂削減にメリットを与える施策)

- ・CO₂削減を全額価格に換算し、その分税の控除をする。
- ・逆、CO₂排出量に応じた課税。
- ・意識をして生活するのは当然の事だと思うので、メリットになることなど与える必要はないと思う。
- ・対価は必要ない。あたり前のことをあたり前にするべき。

3 マイアジェンダ制度について

【問21】

マイアジェンダ登録制度を充実させるためには、登録者を対象にどのような取り組みを行うことが有効だと思いますか？

(回答者数1,422人：答は三つまで)

項 目	回答数 (人)	回答率 (%)
1 情報提供の充実	862	60.6
2 講演会やセミナーの開催	411	28.9
3 ホームページ上で情報交換できる仕組みづくり	231	16.2
4 登録者が集まり、情報交換を行う機会の提供	146	10.3
5 環境配慮行動に応じてポイントを獲得し、商品等と交換できる仕組みづくり	654	46.0
6 環境配慮行動に応じて公共施設の利用料や協力企業の商品が割引される仕組みづくり	554	39.0
7 名刺やホームページ等で使えるロゴの提供	55	3.9
8 登録者証の発行や登録者バッチの提供	182	12.8
9 その他	38	2.7

(問21-9 その他のマイアジェンダ登録制度充実の取り組み)

- ・削減シュミレーションが出来るソフトの提供<細かく>
- ・地域ごとに登録者組織を構成し、講演会、セミナー、催し物などの協力並びに参加を要請する。
- ・特に必要ない。
- ・特別な行動を伴わずに通常の中で取り組めるような企画。
- ・とにかく啓発、周知が一番必要。

【問22】

登録者への情報提供を充実させる場合、どのような情報を提供してもらいたいですか？

(回答者数1,422人：答は一つ)

項 目	回答数 (人)	回答率 (%)
1 講演会、セミナー、環境イベント等の開催情報	177	12.4
2 国や世界の地球温暖化に関する動向	142	10.0
3 家庭の省エネ等の基本的な方法	364	25.6
4 家庭の省エネ等の優れた実践例	444	31.2
5 家庭の省エネ等を進めるための支援制度に関する情報	227	16.0
6 その他	20	1.4
無回答	48	3.4
合 計	1,422	100.0

(問22-6 その他のマイアジェンダ登録者への情報)

- ・危機感を持たせるために、このままCO₂排出量で行った場合の人類、他の生物滅亡分岐点カウントダウンのようなもの。
- ・環境貢献に優れた企業と非協力企業の紹介。
- ・国の戦略と方策の成果。
- ・日本の家庭の現状のエネルギー消費量が適切なのか、否なのかきちんとしたデータを知りたい。

【問23】

ホームページ上で様々なテーマを設定し、情報交換を自由に行う仕組みが普及してきています。こうした仕組みを活用して、ホームページ上で家庭におけるCO₂削減の取組みについてテーマを設定し、登録者が気軽に情報交換できる仕組みができた場合、あなたは参加しますか？

(回答者数1,422人：答は一つ)

項 目	回答数 (人)	回答率 (%)
1 参加したい	429	30.2
2 参加したくない	158	11.1
3 参加できない (パソコンがない、パソコンができない等)	473	33.3
4 分からない	325	22.9
無回答	37	2.6
合 計	1,422	100.0

【問24】

ホームページ上で情報交換を行う場合、どのようなテーマに興味がありますか？

(回答者数429人：答は三つまで)

項 目	回答数 (人)	回答率 (%)
1 家庭における省エネ等を進めるための生活の工夫	331	77.2
2 CO ₂ の排出量の抑制に役立つ製品 (例：省エネ家電製品、太陽光発電設備、高効率給湯器、エコカーや自転車など)	197	45.9
3 環境に配慮した住宅や居住生活 (例：断熱材の活用、自然の光や風の利用、雨水利用、庭の緑化、グリーンカーテンなど)	244	56.9
4 食べ物や食生活 (例：地産地消、有機栽培、フェアトレード食品など)	218	50.8
5 環境にやさしいファッションや化粧品	30	7.0
6 環境に関する仕事やボランティア活動	103	24.0
7 その他	10	2.3

(問24-7 その他の情報交換時の興味あるテーマ)

- ・カーボンオフセット、フリーマーケットの開催。
- ・環境貢献をするとどんな効果があるのかを具体的に説明する事例。
- ・協力的な商店、商業施設のレポート。賢い消費者であるために。
- ・県のCO₂の排出量の抑制施策への、県民側からの意見、提案。
- ・省エネにどうしてもつきまとう“苦痛や我慢”を極力伴わない、辛くない楽しい省エネの方法などを模索・発見・意見交換など

【問25】 ホームページ上の情報交換の仕組みに参加したくない主な理由は何ですか？

(回答者数158人：答は一つ)

項 目	回答数 (人)	回答率 (%)
1 人の取組みを知りたいとは思わないから	6	3.8
2 自分の取組みを人に知ってもらおうとは思わないから	18	11.4
3 有益な情報が得られるとは思えないから	19	12.0
4 めんどうだから	68	43.0
5 その他	38	24.1
無回答	9	5.7
合 計	158	100.0

(問25-5 その他の参加したくない理由)

- ・忙しすぎて暇がないから。
- ・顔の見えない所で意見を言い合うのは好きではない。
- ・個人情報に対するセキュリティ確保が不安だから。
- ・ネット上はうそが多い(信用できない)

【問26】 登録者が環境配慮行動に応じてポイントを獲得し、何らかのメリットが得られる仕組みができる場合、どのような環境配慮行動にポイントをつけるべきだと思いますか？

(回答者数1,422人：答は三つまで)

項 目	回答数 (人)	回答率 (%)
1 電気、ガス、水道等の使用量を減らすこと	1,049	73.8
2 環境家計簿を継続して利用すること	85	6.0
3 環境配慮商品(エコマーク商品など)を購入すること	620	43.6
4 廃棄物の発生抑制、再使用及び再資源化に取り組むこと	592	41.6
5 グリーンカーテンを育てること	250	17.6
6 環境に関するイベントや講演会に参加すること	132	9.3
7 環境に関するボランティア活動に参加すること	222	15.6
8 行楽や旅行、買い物等に公共交通機関(鉄道・バスなど)を利用すること	561	39.5

(問26 ポイント対象の環境配慮行動あなたのアイデア)

- ・自動車の廃車、運転免許証に返上などの自動車自体の交通量を減らす取組みに何らかのインセンティブを与える。
- ・家庭におけるCO₂の削減案、実行案などアイデアを募集して、効果の大小にて各条件ごとにポイントを付与する。
- ・環境関係の資格取得者(エコ検定など)。
- ・自然エネルギー利用機器の導入。
- ・誰でもすぐに参加できるように、小さな事からポイントを付けたらよいと思う。エコバック持参、マイ箸持参 etc。
- ・ポイントを環境通貨として、環境銀行をつくって、貯金したり引き出したりしながら、環境の改善に役立つことに使用する。

環境配慮行動宣言の取組みなどへの参加

【市町村が呼びかけている環境配慮行動宣言の取組みへの参加…市町村名順不同】

- ・神奈川県 ・川崎市 ・綾瀬市 ・海老名市 ・小田原市 ・鎌倉市 ・座間市
- ・秦野市 ・平塚市 ・藤沢市 ・南足柄市 ・二宮町ゴミ半減運動→ゴミ零
- ・横浜市 (COG030 協議会、G30、環境事業推進委員、栄区) ・茅ヶ崎エコワーク
- ・山口県柳井市 (瀬戸内海沿いの森)

【環境団体等が推進している環境配慮の運動への参加…環境団体等の名称順不同】

- ・eco-people.jp のエコレポーター田 ・ESD-J ・G30 コジネタ ・IGES 国際生態学センター
- ・NPO 法人神奈川県環境学習リーダー会 ・NPO 法人 WE21 ジャパンこうほく ・KES ステップ2
- ・NPO アース・エコ ・アースデイマネー ・アソシエーション ・TOKYO 油田 2017
- ・あしがらの自然と環境を守る会 ・綾瀬環境委員会 ・医療生協かながわ
- ・エコキャップ回収運動 ・エコパートナーOB会 ・海老名環境市民会議理事
- ・川崎市ごみ減量推進市民会議委員 ・旧 TeamGOGO ・省エネ家電フォーラム
- ・省エネあかりフォーラム ・消費者の会 ・大地を守る会
- ・茅ヶ崎エコワーク ・茅ヶ崎市マイバッグ推進会議 ・藤沢環境運動市民連絡協議会
- ・パルシステムエコアクションカレンダー ・保土ヶ谷区民会議環境分科会
- ・藤沢市環境協議会女性部 ・藤沢市放射能測定器運営協議会 ・保土ヶ谷 G30 サポーター

【地元の自治会や団体等が推進している環境配慮運動への参加…自治会・団体等の名称順不同】

- ・六会地区環境協議会役員 ・旭丘町内会 ・あやせくらしの会 ・磯子区 G30 推進委員会
- ・上今宗連合自治会 ・えびな消費者の会 ・小田和町内会 ・生活環境協議会 ・豊水会
- ・神奈川県森林インストラクターの会 ・藤沢市グリーンスタッフの会 ・株式会社ファンケル
- ・上郷開発から緑地を守る署名の会 ・神鉄連 ・ロータリークラブ ・公園愛護会
- ・佐江戸町内会 (横浜市都築区) ・里地里山菩提グループ ・湘南国際、自治会
- ・消費者の会 ・新治市民の森 ・新治谷戸田守る会 ・一本橋メダカ愛護会
- ・丹沢大山自然再生委員会 ・鉄町内会 ・長作杉田 ・西南自治会 ・春木径森林会
- ・日立グループ ISO14000 の環境運動 ・広町の森を守る会 ・鎌倉の海を愛する会
- ・藤沢市生活環境協議会 ・藤沢市地球温暖化対策地域協議会 ・エコピープル
- ・藤沢市立藤沢小学校生ゴミ堆肥化事業協議会 ・富士塚自治会 ・地区のボーイスカウト
- ・洋光台地区環境事業推進委員会 ・老人会みどり会 ・自治会環境美化委員

【その他の取組み等…順不同】

- ・所属会社事業所 ・パルシステムのエコアクション ・生活クラブ生協 ・ベルマーク集め
- ・フェアトレード関連の団体 ・大和市の市民祭の折ゴミ拾い
- ・横浜市「水のマイスター」、里山保全 ・リゾートにいった時に自主的にゴミ拾い

自由意見

(CO₂削減のための提案)

- ・「もったいない」精神は、昔から日本人にはあったもの。それが、どうして、いつから、日本人から失われてしまったのかを今ここで考えてみたらどうでしょう。
- ・CO₂の削減をビジュアル化できるようにしたら、励みになる。現状だと、自分の行動が環境にどの程度寄与しているか分からない。
- ・エコカーを買う人に支援するより、車そのものに乗らない人に支援すべき。たとえば自転車の駐輪料金は原則無料に。
- ・家計の節約と地球温暖化を両立させるのがポイント。
- ・きっかけは“自分自身が得をする”でもかまわない。環境行動に関心がない層にどれだけアプローチできるかが求められるし、行動する層を拡大しなければマイナス 25%は無理な話だと思います。また広報のやり方もこれまでおこなっている啓発の手法ではある意味で限界にきているのではないのでしょうか。論理やシステムで行動を啓発する手法と平行して、「流行」として行動を誘発する手法、たとえば音楽やファッションなどこれまで環境にとっては“異次元”と思われるようなことでアピールする事が求められると思います。
- ・口では言っても実行出来ないこともあります。TVが3台ありましたが1台は廃棄しました。なんと電気代がぐっと減り、私は好きなラジオを聞くことが出来ました。でも夫の録画にはまいてしまいます。情報源だからと言われれば・・・。70歳を前に、車も手放して良かった。北極の氷が崩れるのをみたくありませんね！！
- ・光熱費を下げることで環境にやさしい生活が出来るのだと思いますが、子供たちも小さいのでなかなか実行できないのが現状です。国や県など地方自治体からも環境にやさしい生活をしている人たちにはポイントを与えるなどの付加価値を与えることで、参加者がもっと増えるのではないのでしょうか。
- ・電気ガス水道の使用料の削減はある程度までで、限界があると思います。我が家の場合、昨年水周りのリフォームを行ったことにより、特にガス水道の使用量が激減しました。特にトイレの水量の変化などには、驚くばかりでした。私もリフォームするまで、全く知らなかった（こんなに節約できるとは）ことなので、もっと広くPRすると良いと思います。また、家庭だけでなく古いオフィスや公共機関も積極的に新しいものにしていくとよいと思います。
- ・1人でやるより、地域・自治会などで、ともに目標をもって取組み、頑張ったところに（例えばポイント数に応じて）何か環境に良いものを贈るとかするとよいのでは。認められることでモチベーションが高まっていくように思います。
- ・モニター形式を取り入れ定点観測的なデータ集めを定期的に行い、統計をとってデータ化する活動のモニター制をとる。この参加者を募集する。

(CO₂削減のための決意)

- ・毎回の家庭ごみ回収においても、分別ごみすら実施できていない状況を見るに付け、個人の意識の低さを感じている。身近なところからの意識改革をしていかななくてはと思っている。
- ・家族で楽しみながら省エネに勤めたい。
- ・私共、子供のころと現代では何と気温の変化が激しく移り変わった事が本当にびっくりしています。昔は地球温暖化なんて考えた事も、そんな言葉すら知りませんでした。カナダで氷河の説明を聞いた時も温暖化によるものと話を聞き、温暖化を実感しました。私たちに出来る小さな事でも、身のまわりから自覚を持って、暮していきたいと思います。

- ・昔人間の私には無駄をなくすこと＝地球温暖化対策にすべてつながると理解して行動すべく心がけています。（数値管理以前の基本的な必要事項と考えています）

（アジェンダ登録への感想、提案）

- ・マイアジェンダ登録はメリットが少ない。一方通行で効果的でないと思う。
- ・マイアジェンダに登録している自分自身、あまり意識の高まりを感じられないため、もっと情報を得る機会（インターネット、テレビ、フリーペーパーなど）があればよりよいのではと思います。
- ・マイアジェンダ登録については、知らない方が多いと思います。登録をすすめるためにもっとアピールするべきです。また、家庭においては、費用をかけて対策するにはきびしい面もありますので、補助や負担（費用の）が少ない方法を気軽に小さい子がいる家庭の方も出かけられる範囲で講習などを行ってもらいたいです。

（行政への提言）

- ・エコロジーンな生活を自治体でしている人は少なからずいるはずで、行政はそういう人々をつなぎ、コミュニケーションの輪を広げるメディアとなることを模索していただきたい。「エコロジーンは cool である。エコロジーンはかっこいい。」というセンスある啓蒙があってもよいのではないだろうか。神奈川県のリダーシップに期待します。
- ・家庭、企業両方向で有効だと思うのですが、ソーラーシステムで発電した電力を買い取ってもらえるなら、国が先に家庭や企業に対し、ソーラーシステムを提供し、それで発電した電力を買い取るその料金をソーラーシステムの設備費を国民や企業が国に対して返済していくという方法が取れば、家庭や企業は少なからず、現状よりも光熱費が安くなるので、喜んで賛成するのでは？また、先行投資の設備費が苦しいという家庭・企業も関係なくCO₂削減のためのアクションが、先（最優先）に行えるところが自分でも非常に気に入っています。
- ・環境配慮商品の購入がすべて地球温暖化対策に繋がるとは考えられない。まだ、使える家電や車の買換えはゴミを増やしているだけでは？環境対策を経済対策につなげるには良くない。一部企業の宣伝の為の環境対策になっていないか。低燃費の3ナンバー車というのも疑問。高速道路無料化は、論外、不公平感、大きい。諸外国のように国民が平等に負担できるような対策を望みます。家庭用太陽光発電の導入促進など。
- ・県が率先している環境事業を目で知りたい。やってみたい。具体化されているのか？CO₂のクレジット化をやってほしい。
- ・マンション住まいでバルコニーなど共有部分にはいろいろ制約があるので、太陽光発電や高効率給湯器に助成があっても私達には全く関係がない。私達のようなマンション族にも利用できることに助成して欲しい。
- ・国際公約した25%削減達成には、各家庭分をいつまでに、どのようなことを実施しなければならないか、モデルケースを示し、これを達成する長期計画を各家庭で作成する。費用等多くかかるものについては、補助を行う仕組みづくり。
- ・CO₂削減もごみ分別のようにして、ある程度制度化して実施する。
- ・生ゴミ処理機を使用していますが、乾燥後のカスを有効利用できていません。新聞とトイレトペーパーの交換のように野菜と交換できるようなシステムがあるといいと思います。

マイアジェンダ登録者の地球温暖化防止の取組等に関する調査
結果報告書

神奈川県環境農政部環境計画課
〒231-8588 横浜市中区日本大通 1
電 話：045-210-4065
ファックス：045-210-8845